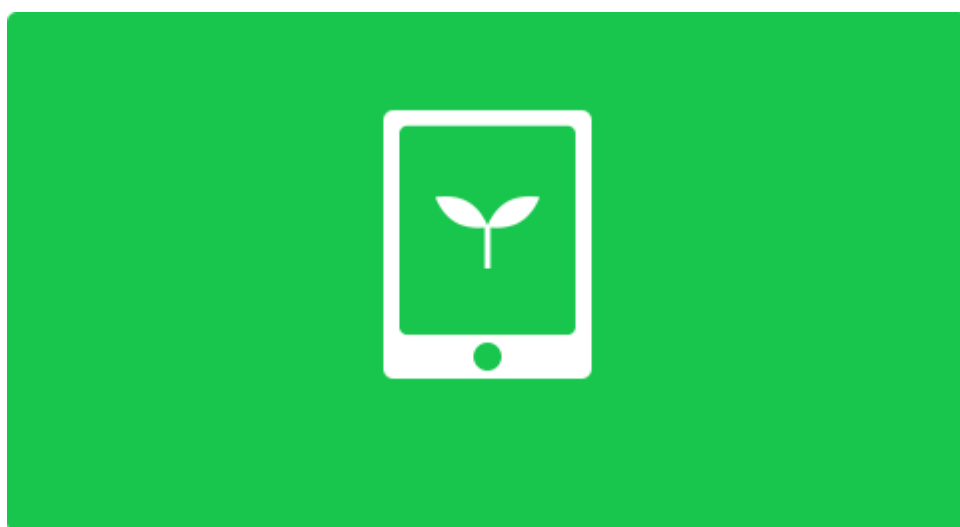


ドリルパーク利用マニュアル



ミライシード

はじめに

ドリルパークは朝学習の時間や、授業中の問題演習、あるいは放課後の自学自習の時間など、子供が自立して問題に取り組む場面で利用できます。

学習意欲を高めていくために、努力や成果に対してポイントやグレードといった形で子供を褒めます。基礎基本の力を身につける「ベーシックドリル」と思考・判断・表現の力を身につける「パワーアップドリル」を用意しています。

— 解くことがどんどん楽しくなる —
それがドリルパークです。

本マニュアルではドリルパークの基本操作から先生が利用される進捗管理、各種設定、問題作成について説明しています。

子供が自立して学び、確かな学力の定着のためにドリルパークをお役立ていただけますと幸いです。

ベネッセコーポレーション

○本マニュアルに掲載されている画面写真は2020年9月現在のもので、予告なく変更される可能性があります。

目次

0. ドリルパークをご利用いただく前に

- 🌱 1 推奨環境 8
- 🌱 2 社名の記載について 8

ドリルパーク（子供）の使い方

1. ドリルパークのメニューを知る

- 🌱 1 ドリル選択画面 9
- 🌱 2 ドリル単元メニュー 9
- 🌱 3 問題画面 10
- 🌱 4 結果画面 10

2. ドリルパークに取り組む

- 🌱 1 ドリルを選択する 11
- 🌱 2 解答する 11
- 🌱 3 ヒントを見る 13
- 🌱 4 手書きメモを書く 13
- 🌱 5 答え合わせをする 14
- 🌱 6 次の問題に進む 14
- 🌱 7 結果を確認する 15

3. 漢字ドリルに取り組む

- 🌱 1 一字なぞり 16
- 🌱 2 書きドリル・読みドリル 18

4. 学び直しドリルに取り組む

-  1 学び直しドリル トップ画面・・・・・・・・・・ 19
-  2 学び直しドリル 学習画面・・・・・・・・・・ 20

5. 配信した宿題に取り組む

-  1 宿題に取り組む・・・・・・・・・・ 21

6. マイドリルに設定する

-  1 設定画面を知る・・・・・・・・・・ 22

7. 学習履歴を確認する

-  1 学習履歴画面を知る・・・・・・・・・・ 23

8. 先生からのコメントを確認する

-  1 先生からのコメントを確認する・・・・・・・・・・ 25

9. ポイント、グレードを知る

-  1 ポイントの加算・・・・・・・・・・ 26
-  2 グレードの上がり方・・・・・・・・・・ 27

ドリルパーク（先生）の使い方

1. ドリルパークのメニューを知る

-  1 ドリルパーク画面・・・・・・・・・・ 28

2. リアルタイム進捗を確認する

-  1 リアルタイムの進捗を確認する・・・・・・・・・・ 29
-  2 進捗の詳細を確認する・・・・・・・・・・ 30

3. 学習履歴を確認する

	1	学習履歴について	32
	2	クラスの学習履歴（簡易画面）を確認する	33
	3	クラスの学習履歴（詳細画面）を確認する	34
	4	子供の学習履歴を確認する	35

4. ドリルを作成する

	1	ドリルの作成準備をする	36
	2	基本情報を設定する	37
	3	問題を入力する	38
	4	ドリルを公開する	43

5. 漢字判定を設定する

	1	漢字判定を設定する	44
---	---	---------------------	----

6. 宿題を配信する

	1	宿題配信画面を開く	45
	2	配信先を設定する	45
	3	配信するドリルを設定する	46
	4	配信する宿題内容を確認する	47

7. 配信した宿題を確認する

	1	宿題を確認する	48
---	---	-------------------	----

8. コメントを配信する

	1	コメントを配信する	49
---	---	---------------------	----

ドリルパーク 総合学力調査ふりかえりの使い方

-  1 ドリルパーク 総合学力調査ふりかえりについて 50
-  2 利用の流れ 50

1. 総合学力調査の受検番号を登録する

-  1 受検番号について 51
-  2 先生が登録する 51
-  3 子供が登録する 58

2. カリキュラムに取り組む(子供)

-  1 総合学力調査ふりかえり トップ画面 61

3. カリキュラムの進捗を確認する(先生)

-  1 クラスの進捗を確認する 62
-  2 子供個人の進捗を確認する 63

ドリルパーク ネイティブアプリ版（子供）の使い方

-  1 ネイティブアプリ版（子供）について・・・・・・・・ 64
-  2 推奨環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

1. 起動・ログインする

-  1 起動・ログインする・・・・ 65

2. ホーム画面を知る

-  1 ホーム画面・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

3. サーバと同期する

-  1 自動同期する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
-  2 手動同期する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
-  3 同期内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66

著作権について *必ずお読みください

ドリルパークをご利用いただく前に

1 推奨環境

下記に、最新の推奨環境の情報を掲載しております。

<https://www.teacher.ne.jp/miraiseed/spec/>

環境によっては、本マニュアルの画面写真と実際の画面の表示が異なる場合があります。

2 社名の記載について

以下、ベネッセコーポレーションという社名はベネッセと略称で記載しています。

<凡例>

- ◆ ポイントと参考 ドリルパークを便利に使うための知識や操作を紹介しています。

ポイントとは？

ドリルパークを使う上で知っておきたい用語や操作について紹介します。  ポイント

参考とは？

ドリルパークを使う上で知っておくと便利な操作や、知識について紹介します。  参考

* ネイティブアプリ版の推奨環境・利用方法などはネイティブアプリ版の資料にて、記載しております。

ドリルパーク（子供）の使い方

ここからはドリルパークの子供の使い方について紹介します。

1 ドリルパークのメニューを知る

この章では、ドリルパークのメニューについて紹介します。

1 じゅ業用・放課後用の選択

ご契約状況によっては表示されません。



ホーム画面表示前に、「授業用」「放課後用」の選択画面が表示されます。

選択すると子供が取り組んだ結果が、「授業での取り組み」なのか、「放課後での取り組み」なのかを確認することができます。

なお、どちらを選択しても利用できる機能に変わりはありません。

2 ドリル選択画面

学習履歴画面に移動します。

学び直しドリルに移動します。

ドリルの学年を選択します。

ヘルプ画面に移動します。

ミライシード
トップ画面に移動します。



ドリルパークに取り組んだ月日が色づけされます。タップすると、学習履歴画面に移動します。

特定の教科のみ表示します。

総合学力調査
ふりかえり画面に移動します。
(総合学力調査ふりかえり機能に関する説明は、【ドリルパーク総合学力調査ふりかえりの使い方について】の章で説明します。)

3 ドリル単元メニュー



グレードです。

獲得したポイント数です。

獲得したメダル数です。

ドリルを選択します。

4 問題画面



現在の進捗状況が把握できます。

各種設定ができます。

途中で終わりにします。

手書きメモに切り替えることができます。

問題が表示されます。

問題に沿って解答方法が変化します。

答え合わせをします。

5 結果画面



ドリル単元メニューに戻ります。

間違えた問題だけ取り組みます。

もう一度全問に取り組みます。

結果を見ることができます。選択すると解答内容を確認できます。(ネイティブ版ではご利用いただけません。)

獲得したポイントを確認できます。

2 ドリルパークに取り組む

この章では、ドリルパークに取り組む方法について紹介します。

1 ドリルを選択する



1 ドリルの種類を選ぶ

ドリルの学年を選び、取り組みたいドリルの種類をタップで選択します。

ヒント：初期状態では、子供の登録学年のドリルが表示されます。



2 ドリルを選ぶ

取り組む単元をタップで開き、取り組みたいドリルをタップで選択します。

2 解答する

1 択一問題



1 選択する

タップで選択します。

ヒント：もう一度タップすることで非選択状態に戻ります。

2 複数選択問題

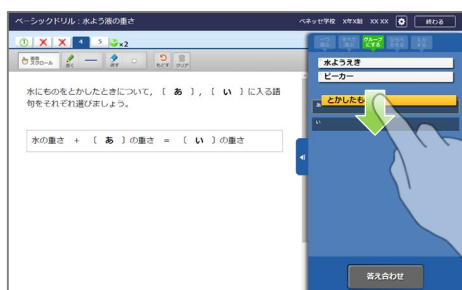


1 選択する

タップで複数選択します。

ヒント：もう一度タップすることで非選択状態に戻ります。

3 分類問題

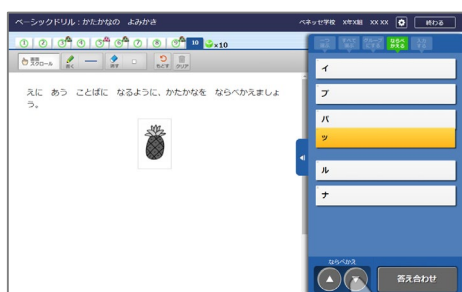


1 分類先に移動させる

ドラッグで分類先に移動します。

ヒント：一度分類した後でも、分類の枠の外に移動させることで分類から外すことができます。

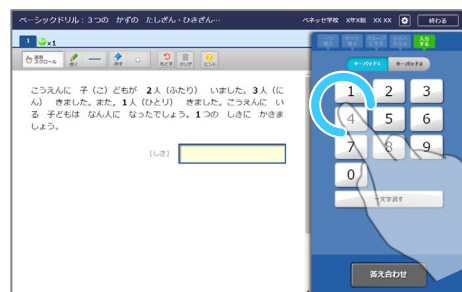
4 並べ替え問題



1 正しい順に移動させる

ならべかえボタンをつかって、正しい順にならべかえます。Chrome以外のブラウザでは、ドラッグでならべかえることも可能です。

5 キーパッド問題

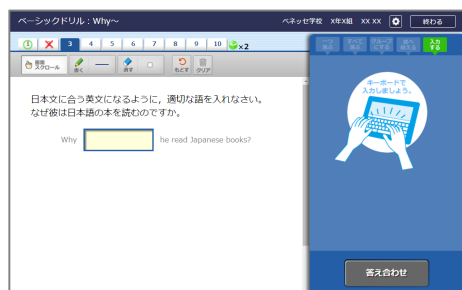


1 入力する

キーパッドで入力します。

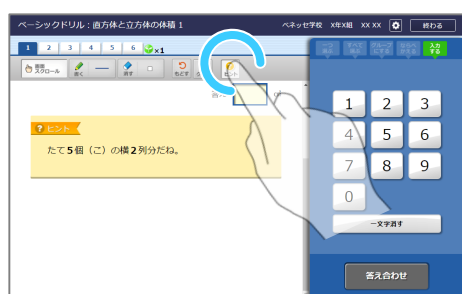
ヒント：数字だけではない場合、キーパッド1, 2を切り替えながら解答します。

6 直接入力問題



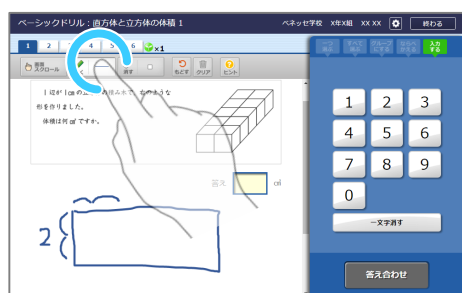
- 1 入力する
ソフトキーボードで入力します。

3 ヒントを見る



- 1 ヒントを見る
「ヒント」ボタンをタップするとヒントが表示されます。
ヒント：ヒントが登録されている時のみボタンが表示されます。

4 手書きメモを書く



- 1 ペンモードにする
「書く」をタップするとペンモードになり、画面にメモを書くことができます。
ヒント：「消す」で消しゴムモードになります。

「もどす」と「クリア」

手書きメモは「もどす」で1つ前の動作に戻すことができます。
「クリア」は手書きメモをすべて消します。



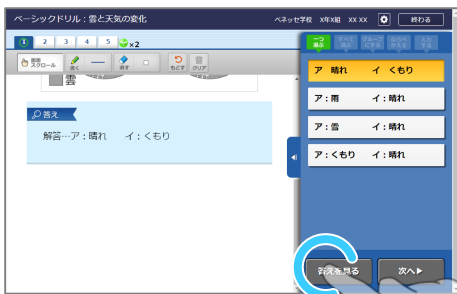
 ポイント

5 答え合わせをする



1 答え合わせをする

「答え合わせ」をタップして答え合わせをします。

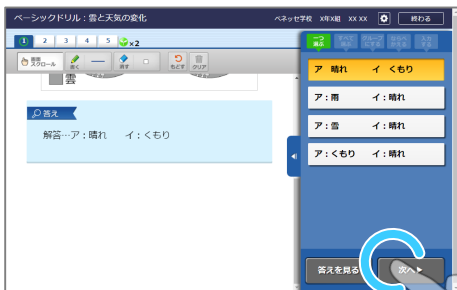


2 答えを確認する

「答えを見る」をタップして答えを確認します。

ヒント： 答えが登録されている場合のみ表示されます。

6 次の問題に進む



1 次の問題に進む

「次へ」をタップして次の問題に進みます。

問題の終わり方 「終わる」をタップすると終了方法を選択できます。

[途中でやめる]

次回再開時に、途中でやめた問題から再開することができます。

[全部答え合わせ]

未解答の問題もすべて答え合わせをします。

 ポイント

7 結果を確認する



1 結果を確認する

結果画面で最終結果の確認をします。

ヒント：各小問の○×をタップすると解答内容が確認できます。(ネイティブ版は非対応)



2 もう一度取り組む

「まちがえた問題だけとく」もしくは「もう一度とく」をタップするともう一度取り組むことができます。

ヒント：全問正解時には「まちがえた問題だけとく」は表示されません。

解き直しの正解は「再」

「まちがえた問題だけとく」「もう一度とく」で前回間違えた問題を正解した場合、結果画面では「再」と表示されます。



参考

3 漢字ドリルに取り組む

この章では、漢字ドリルに取り組む方法について紹介します。
なお、漢字ドリルは、タッチパネルでの操作を推奨しています。

1 一字なぞり



1 漢字を選択する

各単元で初出の漢字が表示されます。漢字を選択します。(ネイティブ版では、[全漢字メニュー]は表示されません。)

1 一字なぞり



1 背景に沿ってなぞる

なぞりを行い、「答え合わせ」をタップします。

ヒント：1回正解後は筆順表示がなくなります。
2回正解後は背景が非表示になります。



2 間違い内容を確認する

間違えた場合、間違い内容を示す画面が表示されます。なお、中学校の漢字については、筆順判定はされません。

2 言葉



1 背景に沿ってなぞる

背景に沿ってなぞり、一字終わったら「決定」をタップし次の文字を書きます。

ヒント：2回正解後は背景が非表示になります。



2 おぼえるマスター獲得

一字なぞり、言葉がすべて終わると「おぼえるマスター」を獲得します。

3 全文字メニューに切り替える



1 全文字メニューに切り替える

該当学年で学習する漢字を全文字メニューに切り替えることで一覧で確認することができます。

入力欄の拡大



入力欄を拡大することができます。



2 書きドリル・読みドリル



1 ドリルを選択する

「書きドリル」「読みドリル」のいずれかをタップして選択します。

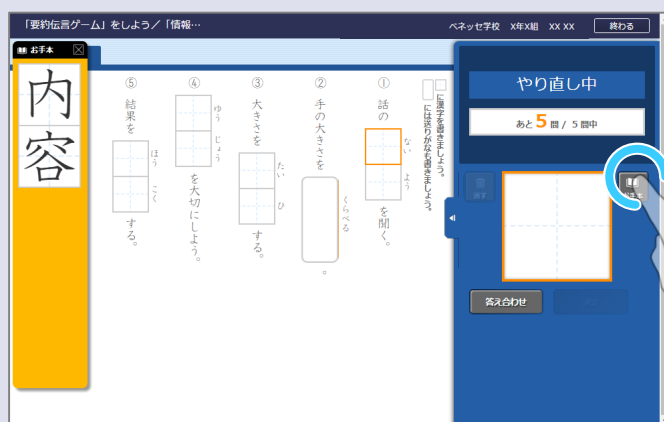


2 解答する

一字なぞりの「言葉」と同様に解答します。

やり直しの時には「お手本」

書きドリルで間違いがある場合、やり直しをすることができます。やり直しの時には「お手本」を見ることができます。



4 学び直しドリルに取り組む

この章では、学びなおしドリルに取り組む方法について紹介します。学びなおしドリルは、算数・数学の自分の苦手な単元を把握し、関連した前学年の単元に戻って、学習し直すことができる設計となっています。なお、ご契約状況によっては表示されません。

1 学び直しドリル トップ画面

ホームに切り替えることができます。



「チャレンジ目標」を表示します。

各ステージ（学年）で習う単元が表示されています。タップすることで学び直しドリル学習画面に遷移します。習熟度や教科書進度に合わせてオススメが表示されます。

前後の学年で近い領域の単元は紐付けされて紹介されます。

チャレンジ目標

目標項目	達成条件	ポイント
今日のチャレンジ数	今日、チェック問題・特訓ドリルに合計 3 個取り組む	10
	今日、チェック問題・特訓ドリルに合計 1 0 個取り組む	10
	今日、チェック問題・特訓ドリルに合計 3 0 個取り組む	10
総チャレンジ数	今までの総合計で、チェック問題・特訓ドリルに 1 0 0 個取り組む	50
	今までの総合計で、チェック問題・特訓ドリルに 3 0 0 個取り組む	50
	今までの総合計で、チェック問題・特訓ドリルに 5 0 0 個取り組む	50
	今までの総合計で、チェック問題・特訓ドリルに 7 0 0 個取り組む	50
	今までの総合計で、チェック問題・特訓ドリルに 1 0 0 0 個取り組む	100
今日のクリア数	今日、1回チェック問題を全問正解する	10
	今日、3 回チェック問題を全問正解する	10
	今日、5 回チェック問題を全問正解する	10
総クリア数	今までの総合計で、1 0 回チェック問題を全問正解する	50
	今までの総合計で、2 0 回チェック問題を全問正解する	50
	今までの総合計で、3 0 回チェック問題を全問正解する	50
	今までの総合計で、5 0 回チェック問題を全問正解する	50
今日の特訓クリア	今日、1 個の単元で表示された特訓ドリルを全ドリル取り組む	20
	今日、3 個の単元で表示された特訓ドリルを全ドリル取り組む	20
	今日、5 個の単元で表示された特訓ドリルを全ドリル取り組む	20
総特訓クリア数	今までの総合計で、1 0 個の単元で表示された特訓ドリルを全ドリル取り組む	100
	今までの総合計で、2 0 個の単元で表示された特訓ドリルを全ドリル取り組む	100
	今までの総合計で、3 0 個の単元で表示された特訓ドリルを全ドリル取り組む	100
コンプリート	1 つのステージ（学年）のチェック問題をすべて全問正解する	200

2 学び直しドリル 学習画面

間違えた問題の類題を自動で出題し、効率的に学習できる設計となっています。

1 学び直しドリル学習画面（初期）



「チェックスタート」を
タップします。

2 チェックテスト画面



チェックテストに取り組み
ます。

3 学び直しドリル学習画面（チェックテスト取り組み後）



チェックテストの正答状況
をもとに、子供の習熟度
に合わせてドリルを表示し
ます。

* 「思い出そう」から関連する前の単元を学び直すことができます。

▶ 思い出そう チェックテストの内ように関係する単元だよ。これまでにどんな学習をしたの思い出してみよう。



5 宿題ドリルに取り組む

この章では、先生が配信した宿題の取り組み方を紹介します。

1 宿題に取り組む



1. 宿題ドリルを選択する。

宿題ドリルが配信されている場合、宿題ドリルが表示されます。
宿題ドリルをタップしてください。

配信された宿題ドリルの取り組んだ数、最後に宿題が配信された月日が表示されます。



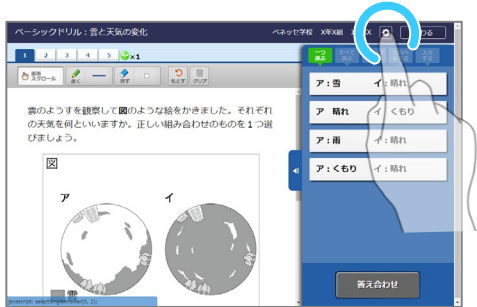
2. 宿題ドリルに取り組む。

先生が配信した宿題ドリルが表示されます。
各ドリルをタップすることで取り組みます。

なお、漢字ドリル「一字なぞり」は、ブラウザ版では非対応です。配信しても、出題されません。

6 マイドリルに設定する

この章では、ドリルのカスタマイズについて紹介します。



1 設定画面を開く

「設定」ボタンをタップし、設定画面を開きます。

1 設定画面を知る



7 学習履歴を確認する

この章では、学習履歴の確認方法について紹介します。



1 学習履歴画面を開く

「ふりかえり」ボタンをタップし、学習履歴画面を開きます。

1 学習履歴画面を知る



1 学習履歴画面

指定の条件で検索することができます。
(詳細は次ページ)

前のページに戻ります。

ドリルパーク

ベネッセ学校 X年X組 XX XX

もどる

学習履歴

けんさくじょうけん ▲けんさくオプションを開く

■教科 ☐ 国語 ☐ 算数 ☐ 社会 ☐ 理科

■取り組み日 2017/07/18 ~ 2017/08/17

けんさく

もどる 1 次へ

2017/07/18 ~ 2017/08/17 合計

学習時間	正答率	とき直し問題数	
0 時間 1 分	33 問中 9 問正しい (27 %)	とき直し 0 問	
2017/08/11	0 分 42 秒	19 問中 5 問正しい (26 %)	とき直し 0 問
2-1 正負の数 4	5 秒 3 問中 0 問正しい (0 %)	とき直し 0 問	
【チェックテスト】正負の数 1	11 秒 7 問中 1 問正しい (14 %)	とき直し 0 問	
【チェックテスト】整数と小数のしくみ	22 秒 4 問中 4 問正しい (100 %)	とき直し 0 問	
1-6 読みドリル 2	4 秒 5 問中 0 問正しい (0 %)	とき直し 0 問	
2017/08/10	0 分 37 秒	14 問中 4 問正しい (28 %)	とき直し 0 問
1-1 文の構成	20 秒 8 問中 1 問正しい (12 %)	とき直し 0 問	
1-6 整数と小数 6	12 秒 3 問中 3 問正しい (100 %)	とき直し 0 問	

合計の学習時間・正答率・解き直し問題数を表示します。

各ドリルの学習時間、正答率、解き直し問題数を表示します。タップすると、各ドリルの結果画面に遷移します。

2 検索条件

取り組んだ日で検索ができます。

複数回実施したドリルについて、「全て」を表示するか「最終実施分のみ」を表示するか検索できます。

取り組んだドリルに応じて、検索ができます。「学び直しドリル」は放課後版のみで表示されるドリルとなります。

ドリルパーク

ベネッセ学校 X年X組 XX XX もどる

けんさくじょうけん ▼ けんさくオプションをとじる

■ 教科 ☐ 国語 ☐ 算数 ☐ 社会 ☐ 理科

■ 取り組み日 2017/07/18 ~ 2017/08/17

■ 実施種別 ☒ 全て ☐ オンライン ☐ オフライン

■ 複数回実施したドリル ☒ 全て ☐ 最終実施分のみ

■ 利用場面 ☒ 全て ☐ じゃあ専用ドリル ☐ 放課後版ドリル

■ ドリル種別 ☒ 全て ☐ 漢字・ベーシック・パワーアップドリル ☐ 学び直しドリル ☐ そう合学力調査ふりかえり

■ 表示方法 ☒ 全て ☐ 取組日合計のみ ☐ 実施ドリル

けんさく

↑

チェックした教科に絞って検索ができます。

設定した検索を実行します。

オンラインまたはオフライン（ネイティブアプリ）で取り組んだかで検索できます。

放課後版を契約している場合に、ドリルパーク遷移時に選択した利用場面に応じて、検索できます。
* 放課後版ドリルは、放課後版を契約している場合のみ、抽出されます。

「取組日合計のみ」または「実施ドリル」に絞って表示することができます。

3 学習履歴項目

検索条件に合致したすべての合計が表示されます。

取り組んだ日の合計が表示されます。

取り組んだドリルの結果が表示されます。

2017/07/18 ~ 2017/08/17 合計					0 時間 1 分	33 問中 9 問	間せいがい (27 %)	とき直し 0 問
2017/08/10					0 分 37 秒	14 問中 4 問	間せいがい (28 %)	とき直し 0 問
文の構成	じゃあ 読了	OFF	もう一度チャレンジ	08/10 23:08	29 秒	8 問中 1 問	間せいがい (12 %)	とき直し 0 問

取り組んだドリルが表示されます。

取り組んだドリルの「利用場面」、「ドリル種別」、「実施種別」が表示されます。

各ドリルに取り組んでいた時間が表示されます。

各ドリルの問題数・正答数・正答率が表示されます。

正答率が100%の場合は「パーフェクト!」、99%以下の場合は「もう一度チャレンジ!」が表示されます。タップすることでドリルの結果画面に遷移し、再度解き直しを行うことができます。

一度間違えた問題を「間違えた問題だけとく」「もう一度とく」から再度解き直して正解した場合に表示される数となります。解き直した数を表示することで、間違えをそのままにせず、正解するまで何度も問題に取り組んだ学習のプロセスを可視化しています。

学習履歴画面に戻ります。

4 各ドリルの結果画面

ベーシックドリル：文の構成

ベネッセ学校 X年X組 XX XX もどる

今回の結果

国語 文の構成 1問せいがい / 8問中 🌱 × 2

1 2 3 4 5 6 7 8

🌱 ❌ ❌ ❌ ❌ ❌ ❌ ❌

🌱 今回かくとくしたメダル

げんざいのシードポイント 00002 次のグレードまであと98pt

まちがえた問題だけとく

もう一度とく

間違えた問題だけを解き直すことができます。

すべての問題を解き直すことができます。

8 先生からのコメントを確認する

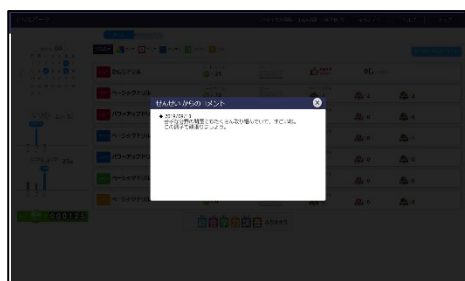
この章では、先生からのコメントの確認方法について紹介します。

1 先生からのコメントを確認する



1 コメント画面を開く

「せんせいからのコメント」ボタンをタップし、コメント画面を開きます。



2 コメントを確認する

先生からのコメントが表示されます。

「せんせいからのコメント」ボタンについて

下記の場合は、「せんせいからのコメント」ボタンは表示されません。

- ・先生からコメントが配信されていない場合
- ・先生から配信されたコメントの確認が済んでいる場合
(コメントを確認できるのは一度のみです。一度コメントを確認すると新しいコメントが配信されるまで「せんせいからのコメント」ボタンは表示されなくなります。)

ポイント

9 ポイント、グレードを知る

この章では、ポイント、グレードのルールについて紹介します。

1 ポイントの加算

1 通常ポイント

タイミング	ポイント数
ドリル取り組み	1ポイント
正解	1ポイント×正解数
3問連続正解（3コンボメダル）	5ポイント×メダル数
5問連続正解（5コンボメダル）	10ポイント×メダル数
全問正解（パーフェクトメダル）	15ポイント×メダル数



2 ボーナスポイント

タイミング	ポイント数
3コンボメダル獲得数 5個, 10個, . . .	5個で10ポイント 10個で15ポイント . . .
5コンボメダル獲得数 5個, 10個, . . .	5個で25ポイント 10個で30ポイント . . .
パーフェクトメダル獲得数 5個, 10個, . . .	5個で50ポイント 10個で55ポイント . . .



メダルの同時獲得

たとえば問題数が5問の場合に全問正解すると、5問連続正解、全問正解の2個のメダルを獲得します。



参考

2 グレードの上がり方

グレード	ポイント数
	100ポイント
	400ポイント
	900ポイント
	1600ポイント
	2500ポイント
	3650ポイント
	5050ポイント
	6700ポイント
	8600ポイント
	10750ポイント
	13200ポイント
	15950ポイント
	19000ポイント
	22350ポイント
	26000ポイント
	30000ポイント
	34350ポイント
	39050ポイント
	44100ポイント
	49500ポイント
	55000ポイント

ドリルパーク（先生）の使い方

ここからはドリルパークの先生の使い方について紹介します。

1 ドリルパークのメニューを知る

この章では、ドリルパークのメニューについて紹介します。
進捗管理や各種設定、問題登録等を行うことができます。

1 ドリルパーク画面



子供の進捗確認画面を表示します。

子供の学習履歴の画面に移動します。

ミライシードトップ画面に移動します。

問題作成画面を表示します。

宿題配信を行います。

漢字判定の設定をします。

子供向けにコメントを配信します。

特定の学年のみ表示します。

特定の教科のみ表示します。

単元メニューを表示します。

総合学力調査
ふりかえり機能
の進捗を確認し
ます。(※)

総合学力調査
ふりかえり機能
の受験番号を登
録します。(※)

教師用メニュー

ドリル参照

5年

すべて

国語

算数

社会

理科

国語 漢字ドリル

国語 ベーシックドリル

国語 パワーアップドリル

算数 ベーシックドリル

算数 パワーアップドリル

社会 ベーシックドリル

理科 ベーシックドリル

リアルタイム進捗確認

学習履歴

ドリル問題作成

漢字判定設定

宿題配信
※オフライン版のみ

総合学力調査
振り回り進捗確認

総合学力調査
受験番号登録

コメント配信

トップ

※ 総合学力調査振り回り機能に関する説明は、【ドリルパーク 総合学力調査ふりかえりの使い方について】の章で説明します。

先生による問題閲覧

ドリル参照から問題を確認することができます。ただし、閲覧履歴は保存されません。

 参考

2 リアルタイムの進捗を確認する

この章では、子供の進捗状況の確認について紹介します。

1 リアルタイムの進捗を確認する

先生は手元のタブレットで子供の進捗状況を確認することができます。



1 進捗確認画面を表示する

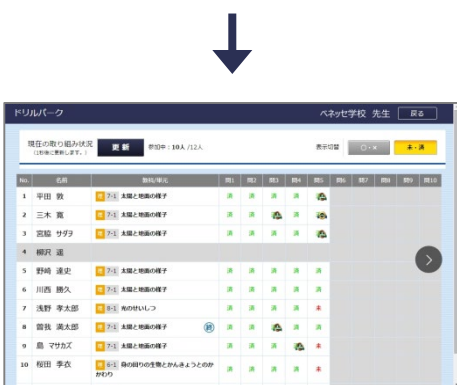
教師用メニューの「リアルタイム進捗確認」をタップします。



2 クラスを選ぶ

進捗を確認するクラスをタップします。

ヒント：ドリルに取り組んでいる子供がいるクラスがすべて表示されます。



3 進捗を確認する

それぞれの進捗を確認します。
(詳細は次ページ)

自動更新と手動更新

進捗状況の情報は10秒ごとに自動更新されます。また、「更新」ボタンをタップすることで、任意のタイミングで情報を更新することもできます。

現在の取り組み状況
(1秒後に更新します。)

更新



2 進捗の詳細を確認する

進捗確認画面では、それぞれの子供の状況を詳細に確認することができます。

■ドリルパーク表示前の子供

4	柳沢 遥						
---	------	--	--	--	--	--	--

ドリルパークを表示していない子供は灰色で表示されます。
ただし、ミライシードにはログインしている場合もあります。

■ドリル実施前の子供

3	宮脇 サダヲ						
---	--------	--	--	--	--	--	--

ドリルパークを表示しているものの、まだドリルを実施していない子供は白色で表示されます。

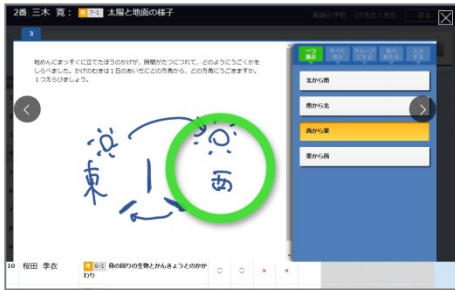
■ドリル実施中の子供

8	曽我 満太郎	理 7-1 太陽と地面の様子		済	済		済	済
---	--------	----------------	---	---	---	---	---	---

ドリル実施中の子供は、小間ごとにステータスが表示されます。
また、各小間をタップすることで、解答状況を確認することができます。

アイコン	説明
	該当のドリルを終えた状態です。
済	その小間を解き終わった状態です。
未	その小間はまだ解いていない状態です。
	その小間でメダルを獲得しています。

■ドリル実施中の子供（続き）



- ・解答状況を確認する
小問をタップして、解答状況を確認することができます。
子供が書いたメモも確認することができます。



- ・○×情報に切り替える
表示切り替えの「○×」をタップすることで、小問別の正誤情報を確認することができます。



- ・11問目以降を確認する
「>」ボタンをタップすることで、11問目以降の状況を確認することができます。
ヒント：「>」ボタンは進捗画面をタップすることで表示されます。

3 学習履歴を確認する

この章では、子供の学習履歴の確認について紹介します。

1 学習履歴について

先生は手元のタブレットで子供のドリルの学習履歴を確認することができます。



1 学習履歴をタップする

教師用メニューの「学習履歴」をタップします。



2 クラスを選ぶ

学習履歴を確認するクラスをタップします。

ヒント：登録されているクラスがすべて表示されます。



3 学習履歴を確認する

子供の学習履歴を確認します。

○検索条件 ～学習履歴は以下の内容で検索することができます～

ドリルパーク

ベネッセ学校 X年X組 XX XX

けんさくじょうけん

けんさくオプションをとじる

けんさく

教科 ☐ 国語 ☐ 算数 ☐ 社会 ☐ 理科

取り組み日 2017/07/18 ~ 2017/08/17

実施種別 ☒ 全て ☐ オンライン ☐ オフライン

ふく数回実施したドリル ☒ 全て ☐ 最終実施分のみ

利用場面 ☒ 全て ☐ じゅ業用ドリル ☐ 放課後用ドリル

ドリル種別 ☒ 全て ☐ 漢字・ベーシック・パワーアップドリル ☐ 学び直しドリル ☐ そう合学力調査ふりがり

表じ方法 ☒ 全て ☐ 取組日合計のみ ☐ 実施ドリル

チェックした教科に絞って検索ができます。

設定した検索を実行します。

オンラインまたはオフライン（ネイティブアプリ）で取り組んだかで検索できます。

放課後版を契約している場合に、ドリルパーク遷移時に選択した利用場面に応じて、検索できます。

*放課後用ドリルは、放課後版を契約している場合のみ、抽出されます。

取り組んだ日で検索ができます。

複数回実施したドリルについて、「全て」を表示するか「最終実施分のみ」を表示するか検索できます。

取り組んだドリルに応じて、検索ができます。学び直しドリルは放課後版のみで表示されるドリルとなります。

「取組日合計のみ」または「実施ドリル」に絞って表示することができます。

2 クラスの学習履歴（簡易画面）を確認する

クラスの変更ができます。

エクセルに出力ができます。

ドリルパーク

ベネッセ学校 先生戻る

学習履歴 1年1組

クラス変更

Excel出力

宿題ドリルを選択

検索条件

▲ 検索オプションを開く

■教科

☐ 国語☐ 算数☐ 英語☐ 社会☐ 理科☐ 数学☐ 社会地理☐ 社会歴史☐ 社会公民

検索

■取り組み日

2017/07/18

📅

~

2017/08/17

📅

簡易

詳細

学年平均		5時間51分	124.7	43.4%	969.7	421.5	7.2
クラス平均		5時間51分	124.7	43.4%	969.7	421.5	7.2
		学習時間	回答ドリル数	正答率	問題数	正解数	総合値/問題数
1	1	16時間 2分	412	34%	3046	1063	3
2	2	21時間 50分	419	50%	3446	1735	52
3	3	13時間 38分	206	47%	1683	800	4
4	4	3時間 38分	119	52%	744	390	10
5	5	3時間 7分	68	30%	621	187	1
6	6	1分	2	90%	11	10	0
7	7	0分	4	45%	22	10	0
8	8	2分	7	10%	68	7	0
9	9	10分	9	12%	49	6	2
10	10	1分	1	87%	8	7	

宿題ドリルを
絞って検索がで
きます。

検索条件を設定して、検索することができます。

学年・クラスの
平均を表示しま
す。

子供の学習履歴
を表示します。

タップすると、
タップした子供の
学習履歴画面
に遷移します。

各項目において
クラス内の上位
20%は緑色、
下位20%は赤
色で表示されま
す。

子供の名前を
表示します。

学習時間を表示します。

取り組んだドリルの数を表示します。

正答率を表示します。

各ドリルで取り組んだ問題の合計数を表示します。

各ドリルで取り組んだ問題の正解数を表示します。

一度間違えた問題を「間違えた問題だけとく」「もう一度とく」から再度解き直して正解した場合に表示される数となります。解き直した数を表示することで、間違えをそのままにせず、正解するまで何度も問題に取り組んだ学習のプロセスを可視化しています。

3 クラスの学習履歴（詳細画面）を確認する



エクセルに出力ができます。

宿題ドリルのみ表示します。

宿題ドリルに絞って検索ができます。

検索条件を設定して、検索することができます。

簡易画面と詳細画面を切り替えます。

子供の名前の欄をタップすると、タップした子供の学習履歴画面に移動します。

次のページに進みます。1ページには200のドリルを表示します。

各ドリルの実施時間、解答時間、正答率と各問題の正答、誤答状況を表示します。

「○」「×」の箇所をタップすると、下記のような解答した内容を確認できます。

No.	名前	教科/単元	実施日時	回答時間	正答率	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
1	1	21-1 世界の地域構成 1	2017/08/08 17:51	42秒	0%	×	×	×	×	×					
		21-1 文明のおこりと日本のはじまり 1	2017/08/08 17:48	2分 8秒	60%	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×
		31-6 オセアニア州 2	2017/08/08 17:36	1分 14秒	40%	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×
		31-10 南アメリカ州 2	2017/08/08 17:34	1分 38秒	60%	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×
		31-1 アジア州 1	2017/08/08 17:33	1分 24秒	40%	○	×	○	×	×					
		7-2 身近な地域の調査 2	2017/08/08 17:25	1分 23秒	50%	○	×	○	×	×	○	×	○		
		7-1 身近な地域の調査 1	2017/08/08 17:13	59秒	0%	×	×	×	×	×					
		41-2 日本の地域構成 2	2017/08/08 17:10	2分 28秒	13%	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
		41-1 日本の地域構成 1	2017/08/08 17:08	1分 19秒	40%	×	×	○	○	×					
2	2	21-2 世界各地の人々の生活と環境 2	2017/08/08 17:32	1分 13秒	90%	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
		51-1 世界と比べた日本の地域的特色 1	2017/08/08 17:31	42秒	30%	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×
		41-2 日本の地域構成 2	2017/08/08 17:29	1分 26秒	53%	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×
		91-1 くらしと経済 1	2017/08/08 11:44	1分 0秒	0%	×	×	×	×	×					
		91-1 地方自治 1	2017/08/08 11:38	3分 46秒	60%	○	×	○	×	○					

解答確認画面

ドリルパーク

1番 1: 9-2 凸レンズの働き

戻る

2

図で、凸レンズの中心からP点までの距離hを何といいますか。1つ選びなさい。

凸レンズ

平行な光

h

1つ選ぶ

すべて消す

グループにする

すべて消える

入力する

観点距離

像点距離

焦点距離

中点距離

戻る

解答確認画面を閉じます。

解答した内容が表示されます。

4 各子供の学習履歴を確認する

子供の変更ができます。

エクセルに出力ができます。

ドリルパーク

ヘネッセ学校 先生

戻る

学習履歴 1年1組1番 1

生徒変更

Excel出力

検索条件

▲ 検索オプションを開く

■ 教科

☐ 国語 ☐ 算数 ☐ 英語 ☐ 社会 ☐ 理科

☐ 数学 ☐ 社会地理 ☐ 社会歴史 ☐ 社会公民

■ 取り組み日

2017/07/18 ~ 2017/08/17

検索

戻る 1 2 3 次へ

2017/07/18 ~ 2017/08/17 合計

16 時間 2 分 304問中 1063問正解 (34 %) 解き直し 3 問

学習時間 正答率 解き直し問題数

2017/08/10

3 分 39 秒 16 問中 14 問正解 (87 %) 解き直し 0 問

【チェックテスト】 角の大きさ (角度)

1-1 じゅ業 学び直し OFF パーフェクト! 08/10 13:08 53 秒 5 問中 5 問正解 (100 %) 解き直し 0 問

3-1 角の大きさ 1 じゅ業 通じよう OFF パーフェクト! 08/10 13:07 41 秒 2 問中 2 問正解 (100 %) 解き直し 0 問

2-1 角の大きさ 2 じゅ業 通じよう OFF パーフェクト! 08/10 13:05 1 分 2 秒 4 問中 4 問正解 (100 %) 解き直し 0 問

【チェックテスト】 角の大きさ (角度)

1-1 じゅ業 学び直し OFF もう一度チャレンジ! 08/10 13:03 1 分 3 秒 5 問中 3 問正解 (60 %) 解き直し 0 問

2017/08/09

4 分 15 秒 52 問中 3 問正解 (5 %) 解き直し 0 問

5-1 加法と減法 10 じゅ業 通じよう OFF もう一度チャレンジ! 08/09 23:20 4 秒 7 問中 0 問正解 (0 %) 解き直し 0 問

5-2 加法と減法 12 じゅ業 通じよう OFF もう一度チャレンジ! 08/09 23:20 5 秒 8 問中 0 問正解 (0 %) 解き直し 0 問

検索条件を設定して、検索することができます。

次のページに進みます。1ページには200のドリルを表示します。

合計の学習時間・正答率・解き直し問題数を表示します。

各ドリルの学習時間、正答率、解き直し問題数を表示します。タップすると、各ドリルの結果画面に遷移します。

検索条件に合致したすべての合計が表示されます。

取り組んだ日の合計が表示されます。

取り組んだドリルの結果が表示されます。

取り組んだドリルが表示されます。

取り組んだドリルの「利用場面」、「ドリル種別」、「実施種別」を表示します。

各ドリルに取り組んでいた時間が表示されます。

各ドリルの問題数・正答数・正答率が表示されます。

一度間違えた問題を「間違えた問題だけでなく」「もう一度とく」から再度解き直して正解した場合に表示される数となります。解き直した数を表示することで、間違えをそのままにせず、正解するまで何度も問題に取り組んだ学習のプロセスを可視化しています。

正答率が100%の場合は「パーフェクト!」、99%以下の場合は「もう一度チャレンジ!」が表示されます。タップすることでドリルの結果画面に遷移し、再度解き直しを行うことができます。

4 ドリルを作成する

この章では、ドリルの作成方法について紹介します。

1 ドリルの作成準備をする

自作した問題を登録することでデジタルドリルとして利用することができます。



1 ドリル問題作成画面を表示する

教師用メニューの「ドリル問題作成」をタップします。



2 新規登録をする

画面右上の「問題を新規登録」をタップします。



3 内容を入力する

問題、ヒント、解答を入力していきます。
(詳細は次ページ以降)

問題登録の単位

問題は1問ずつ登録します。



2 基本情報を設定する

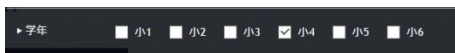
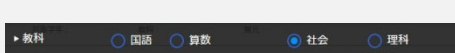
ドリルが登録される学年，単元，ドリルのタイトル等を基本情報で設定していきます。



1 ドリル基本情報を設定する

「基本情報を編集する」をタップします。

■ 基本情報各種設定内容

項目名	画面	説明
学年		該当学年を選択します。
教科		学年の選択に応じて，教科が表示されます。該当教科を選択します。
単元		学年・教科の選択に応じて，単元が表示されます。該当単元を選択します。
ドリル種別		ドリルの種別を選択します。 ・ベーシックドリル：基礎基本 ・パワーアップドリル：思考的
タイトル		タイトルを入力します。



2 ドリル基本情報を保存する

各種設定が完了したら，「保存」をタップします。

3 問題を入力する

登録する問題を 1 問ずつ入力していきます。

各小問タブをタップすると、それぞれの問題を確認できます。ドラッグで入れ替えもできます。

小問タブに赤いマークが出ている時には入力がまだ完了していない状態を表しています。



小問を追加します。

入力に不備がある箇所を示しています。

解答方法を選択します。

ヒント・答えを登録するかどうかを設定します。

答え合わせ後、答えを自動表示するかどうかを設定します。

小問の編集

1

この小問の編集状況: 答えに不備があります 問題が入力されていません ヒントが入力されていません 解説が入力されていません

回答形式を選択: ☒ 選択 ☐ 複数選択 ☐ 分類 ☐ 並べ替え ☐ 直接入力

ヒント・解説の有無: ☒ ヒントを登録 ☒ 解説を登録 ☐ 解説を自動表示

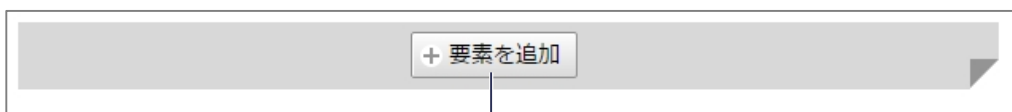
解答形式は先に決める

解答形式を途中で変更すると、そこまで解答欄に入力していた内容がすべて破棄されます。
ただし、問題やヒント・答えは破棄されません。

☒ 選択 ☐ 複数選択 ☐ 分類 ☐ 並べ替え ☐ 直接入力

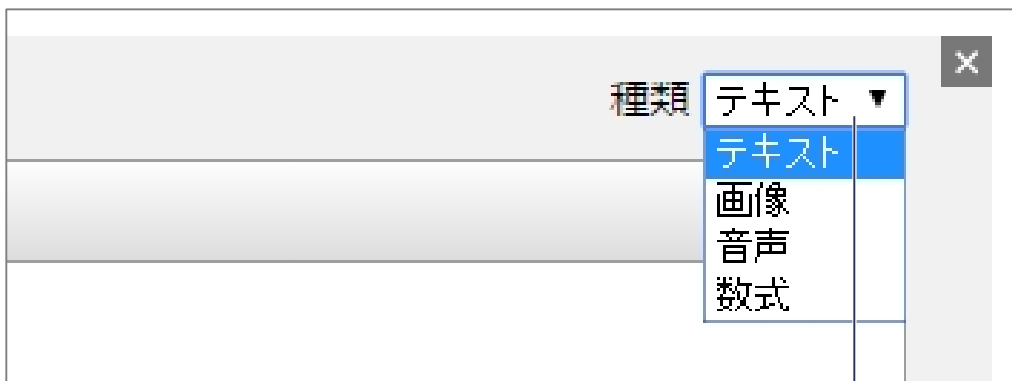


■ 問題・ヒント・答えを入力する



「要素を追加」で入力欄を追加します。

■ 要素の種類を変更する



種類

テキスト

テキスト

画像

音声

数式

要素の種類を選択します。

＋テキスト＋

このスクリーンショットは、ドリル作成時の「テキスト」入力画面を示しています。画面上部には「種類」が「テキスト」に設定されています。中央にはテキスト編集用のツールバーがあり、太字（B）、斜体（I）、下線（U）、平方（x²）、平方根（x₂）、および下付き（Iₓ）のアイコンが並んでいます。その下には3行のテキスト入力欄があり、それぞれ「選択範囲に下線を追加します。」「選択範囲を斜体にします。」「選択範囲を太字にします。」という説明が記載されています。右側には「問題を入力します。」という注釈があります。下部には「表示」のセクションがあり、「ドリルパーク」と「ドリルパーク：放課後」の両方がチェックされています。右側には「テキストを罫線で囲む」のオプションがあります。右端には「要素を削除します。」という注釈と削除アイコン（X）が示されています。また、「放課後教室の場合、「ドリルパーク：放課後」にチェックを入れます。」という注釈も含まれています。

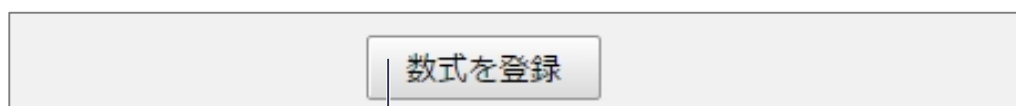
＋画像＋

このスクリーンショットは、ドリル作成時の「画像」設定画面を示しています。左側には「ドキュメントライブラリ」があり、「修正図版」の下に「名前」のリストがあります。リストには「2503K5104.png」「2503K4503.png」「2503K4502.png」などのファイル名が並んでいます。右側には「画像を変更します。」という注釈と「ファイルを変更」のボタンがあります。下部には「画像の位置」のセクションがあり、「左寄せ」「センター」「右寄せ」のラジオボタンと「拡大表示を可能にする」のチェックボックスがあります。注釈には「画像の表示位置を設定します。」と「画像を拡大表示できるようにします。」が含まれています。また、「フォルダ参照から該当の画像を選択します。（jpg, png, tiff, gif, bmp）」という説明も記載されています。

＋音声＋

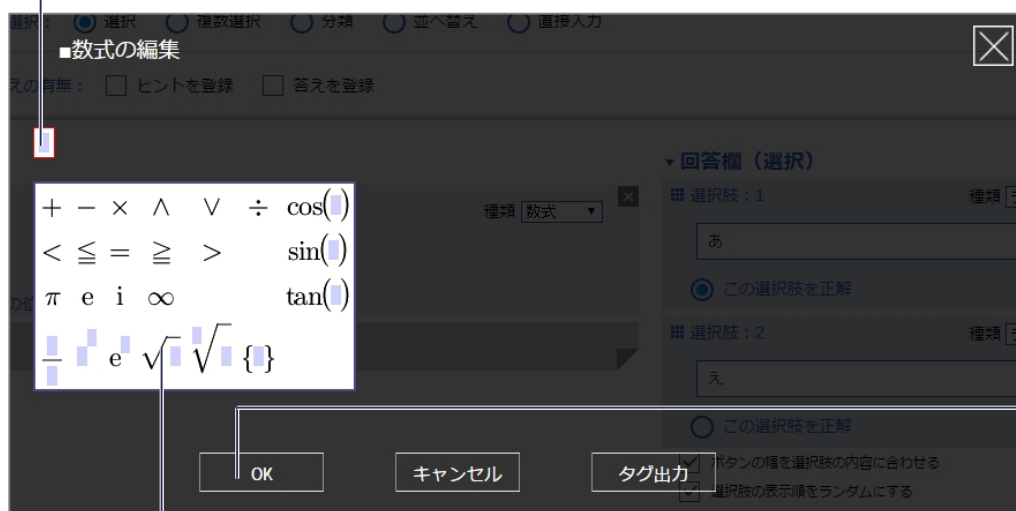
このスクリーンショットは、ドリル作成時の「音声」設定画面を示しています。左側には「ミュージックライブラリ」があり、「Heart Beat01-wav」の下に「名前」のリストがあります。リストには「Heart Beat01-1L.wav」「Heart Beat01-2L.wav」「Heart Beat01-3L.wav」などのファイル名が並んでいます。右側には「音声データを変更します。」という注釈と「ファイルを変更」のボタンがあります。下部には「音声コントロールの画像の表示位置を変更します。」という注釈と「画像の位置」のセクションがあり、「左寄せ」「センター」「右寄せ」のラジオボタンがあります。また、「フォルダ参照から該当の音声を選択します。（mp3, wma, wav）」という説明も記載されています。

↑ 数式 ↓



数式の登録を開始します。

数字、文字列を入力します。
*ただし、半角英数のみ



入力内容を確定します。

利用したい記号等を選択して、入力します。
紫色の部分に数字、文字列が入力できます。

■ 解答形式 - 選択 - の解答欄入力

選択での解答形式では、テキストもしくは画像の選択肢を用意することができます。



追加した選択肢を削除します。

正解となるものを選択します。

選択肢のパネルを文字数に応じて伸縮します。

選択肢を追加します。
* 最大10まで。

取り組みの度に選択肢をランダムで並べます。

■ 解答形式 - 複数選択 - の解答欄入力

複数選択での解答形式では、テキストもしくは画像の選択肢を用意することができます。
基本的な入力方法は選択形式のものと同様です。

▼ 答え (複数選択)

選択肢 : 1 種類 テキスト

☐ この選択肢を正解

選択肢 : 2 種類 テキスト

☐ この選択肢を正解

選択肢 : 3 種類 テキスト

☐ この選択肢を正解

☒ ボタンの幅を選択肢の内容に合わせる

☒ 選択肢の表示順をランダムにする

+ 要素を追加

正解となるものを選択
します。(複数個可)

■ 解答形式 - 分類 - の解答欄入力

分類での解答形式では、テキストもしくは画像の選択肢を用意することができます。

▼ 答え (分類)

分類 : 1

分類 : 2

+ 要素を追加

▼ 選択肢

選択肢 : 1 種類 テキスト

正解

選択肢 : 2 種類 テキスト

正解

☒ ボタンの幅を選択肢の内容に合わせる

☒ 選択肢の表示順をランダムにする

+ 要素を追加

分類に用いる分類名を
入力します。

分類数を追加します。

選択肢の正解の分類先
を指定します。
* どこにも属さない選
択肢は空白のままに
します。

■ 解答形式 - 並べ替え - の解答欄入力

並べ替えでの解答形式では、テキストもしくは画像の選択肢を用意することができます。

正解の並び順を設定します。

■ 解答形式 - 直接入力 - の解答欄入力

直接入力での解答形式では、キーパッドもしくは端末のキーボードで入力する問題を用意することができます。

† 使用キーボード†

キーパッドを利用する場合、選択します。白い枠をタップすると、選択できるキーパッドが表示されます。

設定を保存します。

端末のキーボードを使う場合、選択します。

キーパッドを利用する場合、タップで利用するものを選択します。

4 ドリルを公開する

作成したドリルは他校に公開することができます。公開の際には著作権にご注意ください。
公開設定画面はドリル基本情報設定の一番下の項目にあります。

* ASP版, センターサーバー版のみ。

他校にも公開を選択します。

学校を検索し、公開先を設定します。

作成したドリルは自校内で公開

作成したドリルは自校内では常に公開されます。



5 漢字判定を設定する

この章では、漢字ドリルにおける漢字判定の設定方法について紹介します。

1 漢字判定を設定する

漢字ドリルの判定精度を設定することができます。



1 漢字判定設定画面を表示する

教師用メニューの「漢字判定設定」をタップします。



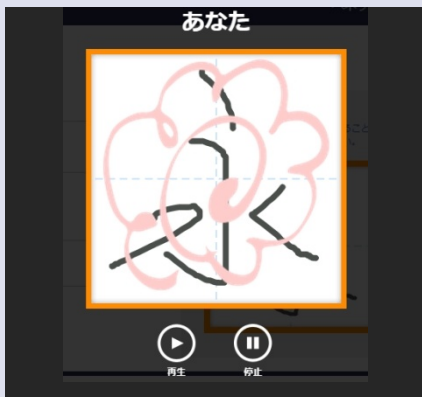
2 各種設定をする

各項目を設定します。画面右側の枠内に「永」を書いて、判定設定を確認します。

ヒント：学年は子供の学年を示しており、その学年の漢字の判定設定ではありません。

判定難易度レベル

判定難易度レベルに応じて、判定の厳しさが変化します。
下の二つの判定結果は同じ字で判定難易度レベルを変えた場合です。



▲判定難易度「やさしい」「普通」



▲判定難易度「難しい」

6 宿題を配信する

先生のメニュー画面については、「ドリルパーク（先生）の使い方」を参考にご利用ください。

1 宿題配信画面を開く



1 宿題配信画面を表示する

教師用メニューの「宿題配信」をタップして、宿題配信画面へ進みます。



2 「一斉配信」または「個別配信」を選ぶ

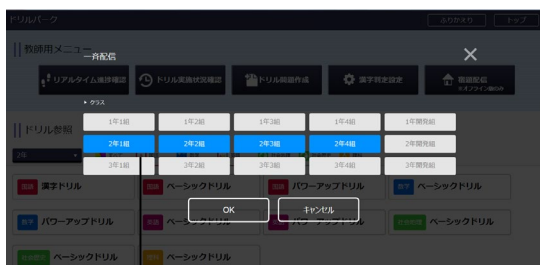
「一斉配信」は選択したクラスの子供全員に配信します。

「個別配信」は特定のクラス内の選択した子供に配信します。

2 配信先を設定する



一斉配信の場合



配信するクラスを選びます。

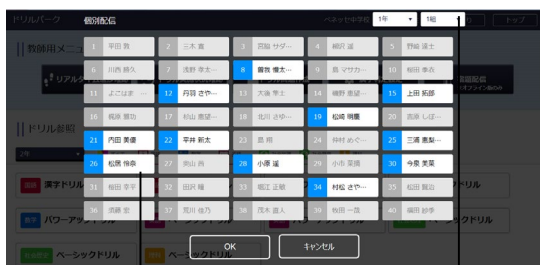
配信するクラスを選ぶ

配信するクラスをタップして、選択してください。

* 複数のクラスに配信することができます。

選択が終わったら、「OK」をタップしてドリル選択画面に進みます。

個別配信の場合



配信する子供を選びます。

クラスを選びます。

配信するクラス・子供を選ぶ

配信したい子供のいるクラスを右上から選択してください。

子供が表示されますので、配信したい子供をタップして、選択してください。

* 複数の子供に配信することができます。

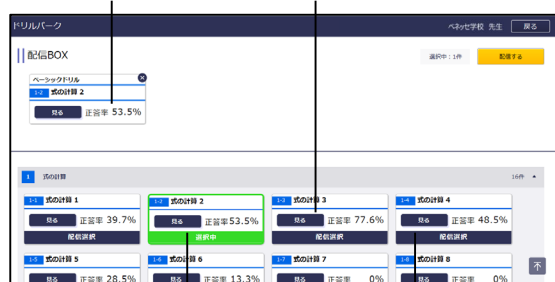
* 複数のクラスの子供に配信することはできません。

選択が終わったら、「OK」をタップしてドリル選択画面に進みます。

3 配信するドリルを設定する



選択が配信BOXに表示されます。「見る」から問題を確認できます。

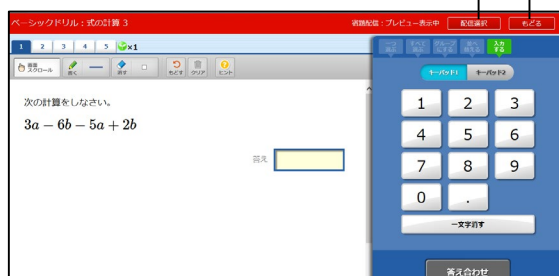


選択したドリルは「選択中」になります。

配信するドリルを選択します

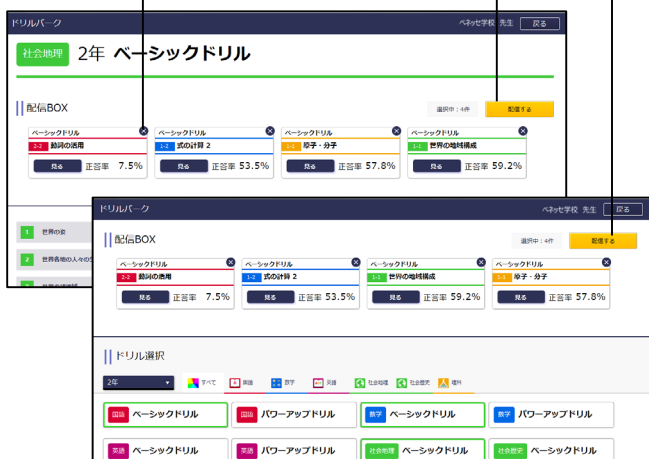
前の画面に戻ります。

ドリルを選択することができます。



選択したドリルを取り消します。

配信画面に遷移します。



1 配信したいドリルを選択する
配信したいドリルをタップしてください。

2 配信したいドリルを選択する
配信したいドリルについて「配信選択」をタップしてください。
ドリルの問題を確認する場合は「見る」をタップしてください。（3に進みます。）
他の教科・ドリルなどを選ぶ際は右上の「戻る」をタップしてください。
なお、漢字ドリル「一字なぞり」は、ブラウザ版では非対応です。配信しても、出題されません。

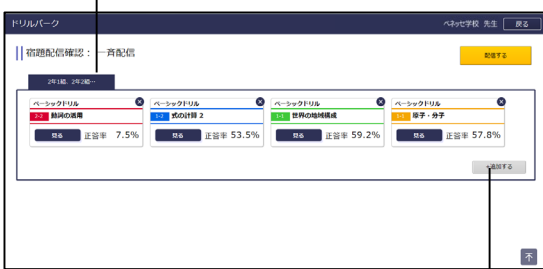
3 ドリルの問題を確認する
問題内容を確認することができます。
確認しているドリルを配信する場合は右上の「配信選択」をタップしてください。
配信しない場合は「戻る」から前の画面に戻ってください。

4 配信するドリルを確認する
選択したドリルが配信BOXに入っています。
配信するドリルに間違いがないか確認して、「配信する」をタップします。

4 配信する宿題内容を確認する

一斉配信の場合

配信するクラスを確認できます。



配信するドリルを追加・変更・削除できます。

1 配信内容を確認し、配信する。

配信する対象、配信するドリルを確認します。
間違いが無い場合は右上の「配信する」をタップしてください。配信されます。

個別配信の場合

配信します。

配信するクラス・子供を確認できます。



配信するドリルを追加・変更・削除できます。

配信するクラス・子供を確認・変更できます。

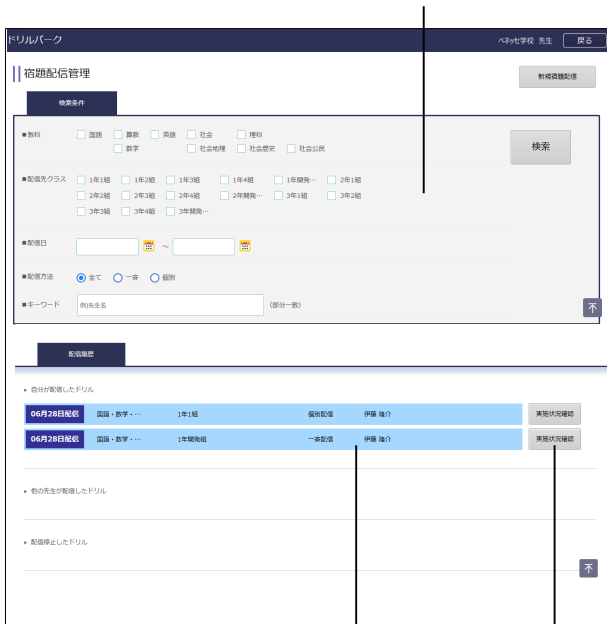


7 配信した宿題を確認する

この章では、先生が配信した宿題を確認する機能を紹介します。

1 宿題を確認する

検索条件を設定することができます。



The screenshot shows the 'ドリルパーク' (Drill Park) interface. The top section is '宿題配信管理' (Homework Distribution Management). It includes a '検索条件' (Search Conditions) section with checkboxes for subjects (国語, 算数, 英語, 社会, 理科, 数学, 社会科, 総合), grade ranges (1年1組 to 3年4組), and a '検索' (Search) button. Below this is the '配信履歴' (Distribution History) section, which shows a list of distributed drills with columns for date, subject, grade, and status. A '不' (No) button is visible at the bottom right of the history section.

配信した宿題を確認することができます。

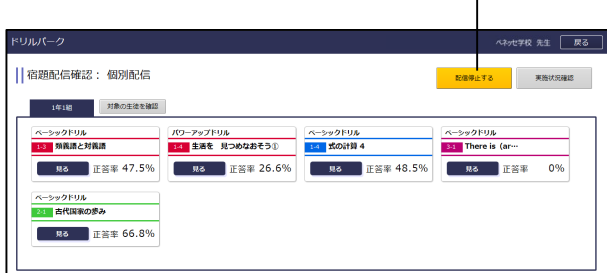
配信した宿題の取り組み状況を確認できます。

1. 配信した宿題を確認する。

検索条件欄に設定をして「検索」を行うことができます。

配信履歴欄より配信した宿題を確認することができます。

配信停止を行うことができます。



The screenshot shows the 'ドリルパーク' (Drill Park) interface with the '宿題配信確認：個別配信' (Homework Distribution Confirmation: Individual Distribution) section. It displays a list of drills with columns for subject, grade, and status. A '配信停止する' (Stop Distribution) button is visible at the top right. Below the list, there are buttons for '見る' (View) and '正答率' (Correct Answer Rate) for each drill.

2. 配信した宿題の詳細な内容を確認する。

配信内容を確認できます。

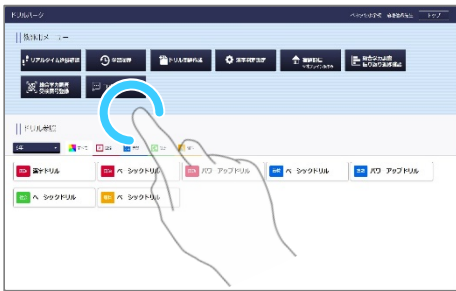
また、右上の「配信停止する」から配信を停止することができます。

8 コメントを配信する

この章では、コメントの配信方法について紹介します。

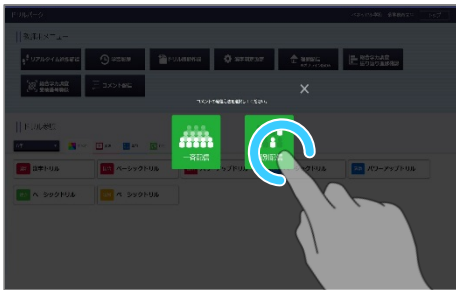
1 コメントを配信する

子供にコメントの配信をすることができます。



1 コメント配信を表示画面する

教師用メニューの「コメント配信」をタップします。



2 配信方法を選択する

一斉配信か個別配信かを選択します。
個別配信の場合は次の画面で配信する子供を選択します。



3 コメントを入力する

コメントを入力していきます。

配送中コメント一覧

配送中コメント一覧には、配送中のコメントが表示されます。
子供がコメントを確認すると一覧からコメントが消えます。

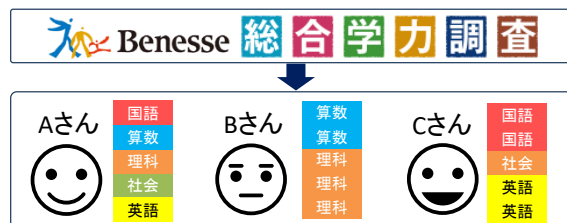


ドリルパーク総合学力調査ふりかえりの使い方について

ここからは総合学力調査ふりかえりの使い方について紹介します。

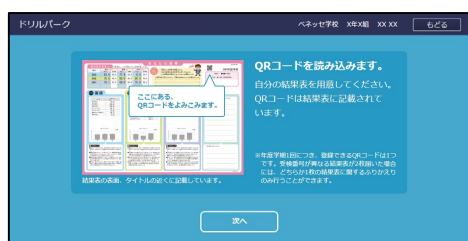
1 総合学力調査ふりかえりについて

ベネッセ 総合学力調査を受検されている場合、その個々の診断結果を元に、一人ひとりの成績に応じた個別カリキュラムをドリルパークで自動生成することができます。苦手な内容を効率的にふりかえることができます。



* ASP版のみ対応しています。(2019年12月現在)

2 利用の流れ



1 受検番号を登録する。

総合学力調査の受検番号をドリルパークに登録します。登録は、先生・学校管理者、子供それぞれで登録できます。



2 ドリルに取り組む(子供)

自動生成されたカリキュラムのドリルに取り組めます。



3 確認テストに取り組む(子供)

教科ごとにすべてのドリルに取り組むと、「確認テスト」が出題されます。

「確認テスト」の問題は、ドリルの問題から出題され、間違えた問題を優先的に登録します。

1 総合学力調査の受検番号を登録する

この章では、総合学力調査の受検番号の登録方法についてご紹介します。

1 受検番号について

1 登録可能な受検番号

登録可能な受検番号は、当該年度及び昨年度の受検番号です。なお、総合学力調査を受検する度に新規に受検番号が発番されるため、その都度ドリルパークに登録する必要があります。

2 学校で採択した総合学力調査の受検番号

学校で採択した総合学力調査についても、登録することが可能です。なお、この場合、全国正答率が公開されるまで、カリキュラム生成はできません。また、ドリルパークに登録できる受検番号は、年度学期あたり1つまでになるため、自治体受検と学校単体受検で、受検番号が複数発行されている場合には、1つのみ登録が可能です。(例：自治体では国算、学校では理社を受検した場合に、受検番号が複数発行された場合は、片方のみ利用可能。)

3 受検番号はあるが、受検自体ができなかった場合

欠席などの理由で、受検番号は発番されているが、受検自体はできなかった場合は、参照するデータがないため、本機能を利用できません。

2 先生が登録する

先生が受検番号を登録する方法をご紹介します。登録はクラス単位でできます。



- 1 総合学力調査 受検番号登録画面を表示する
教師用メニューの「総合学力調査 受検番号登録」を選択します。



- 2 クラスを選ぶ
受検番号を登録するクラスを選択します。



- 3 機能説明
初めて受検番号を登録する際には、機能説明画面が表示されます。「次へ」を選択します。

4 受検番号を登録する

「直接入力」「QRコードで登録」「Excelファイル読み込み」の方法があります。
(ご利用のブラウザによって、登録方法が異なります。)

直接入力する場合

年	組	番	氏名	受検番号	状態
6	2組	1	平田 敦	1834568790	
6	2組	2	三木 寛	1895436543	
6	2組	3	宮脇 サダヲ	1985435434	
6	2組	4	柳沢 遥		未入力
6	2組	5	野崎 達士		未入力

※年度学期1回につき、登録できる受検番号は1つです。受検番号が異なる結果表が2枚組だった場合には、どちらか1枚の結果表に替える方がえりのみ行うことができます。

確定

入力欄に、受検番号を入力し、
ページ最下部の「確定」を選択します。

QRコードを読み込む場合(Windows)

* Internet Explorer 11 は非対応です。

(1) QRコード読み込み画面を開く

「QRコードで登録」を選択すると、
QRコード読み込み画面が表示されます。

ご利用の環境によっては、
カメラの許可が表示されるので、
「はい」を選択します。

なお、インカメラ・アウトカメラの
切り替えはできません。

6年 2組 4番 柳沢 遥さん
結果表に記載されているQRコードを読み込みます。

キャンセル 次の子どもへ

133.242.49.125 が Web カメラを使うことを許可しますか? はい いいえ ×



(2) QRコードを読み込む

総合学力調査の結果表に記載されて
いるQRコードを読み込みます。読み
込みが完了すると、自動的に次の子
供が表示されます。

欠席等で受検していない子供の場合
は、「次の子どもへ」を選択し、登
録をスキップします。

すべての子供の読み込みが完了した
ら、受検番号登録画面にあるページ
最下部の「確定」を選択します。

ヒント：
総合学力調査の保管カードを元に
登録することも可能です。

QRコードを読み込む場合(iOS)



(1) カメラ起動画面を開く

「QRコードで登録」を選択すると、カメラ起動画面が表示されます。

欠席等で受検していない子供の場合は、「次のこどもへ」を選択し、登録をスキップします。

(2) カメラを起動する

「カメラを起動」を選択すると、カメラが起動します。

ご利用の環境によっては、カメラの許可が表示されるので、「OK」を選択します。

ヒント：

「許可しない」を選択した場合は、設定アプリから各ブラウザの設定メニューを開き、再設定してください。

(3) QRコードを撮影する

総合学力調査の結果表に記載されているQRコードをカメラで撮影後、左下の「写真を使用」を選択します。

すべての子供の撮影が完了したら、受検番号登録画面にあるページ最下部の「確定」を選択します。

ヒント：

総合学力調査の保管カードを元に登録することも可能です。

Excelフォーマットから取り込む場合

* iOS・ChromeOSは非対応です。

(1) フォーマットをダウンロードする

「Excelファイル取り込み」を選択すると、フォーマットのダウンロード・アップロード画面が表示されます。

「フォーマットをダウンロードする」を選択すると、Excelファイルをダウンロードします。



ID	学年	クラス	出席番号	氏名	受験番号
1	6	2組	1	平田 敦	
2	6	2組	2	三木 寛	
3	6	2組	3	高橋 サヅラ	
4	6	2組	4	柳沢 達	
5	6	2組	5	野崎 達一	
6	6	2組	6	川西 勝久	
7	6	2組	7	浅野 孝太郎	
8	6	2組	8	曾我 博太郎	
9	6	2組	9	島 マサル	
10	6	2組	10	柳田 泰衣	
11	6	2組	11	上田 拓郎	
12	6	2組	12	横原 雅功	
13	6	2組	13	杉山 重望子	
14	6	2組	14	北川 さかり	
15	6	2組	15	心崎 明彦	
16	6	2組	16	吉原 しほり	
17	6	2組	17	内田 美優	
18	6	2組	18	平井 新太	
19	6	2組	19	島 翔	
20	6	2組	20	伊村 めぐみ	
21	6	2組	21	三浦 重製香	

(2) フォーマットを編集する

ダウンロードしたExcelファイルを開き、受験番号の列に、入力をし、保存します。

(3) フォーマットをアップロードする①

フォーマットのダウンロード・アップロード画面から、「フォーマットをアップロードする」を選択します。



(4) フォーマットをアップロードする②

Excelファイルアップロードダイアログが表示されます。[参照]からファイルを選択し、[アップロード実行]を選択します。

アップロードが完了すると、受験番号登録画面に反映されます。画面最下部にある[確定]ボタンを選択し、登録を完了します。



総合学力調査 Web分析システム「SYEN」から受検番号をダウンロード

「SYEN」から受検番号をダウンロードして、登録することも可能です。

1 SYENにログイン

SYENにログインし、帳票閲覧画面を開きます。

ヒント：SYENはInternet Explorer11のみ対応しています。Windows端末でご利用ください。

2 「個人全教科一覧」をダウンロードする

以下の手順で、「個人全教科一覧」をダウンロードします。

- (1)年度・学期のプルダウンから登録する年度・学期を選択します。
- (2)学級別のプルダウンから登録するクラスを選択します。
- (3)「個人全教科一覧」を選択します。
- (4)作成帳票一覧に帳票が作成されたらダウンロードします。

3 受検番号をドリルパークのフォーマットに貼り付ける

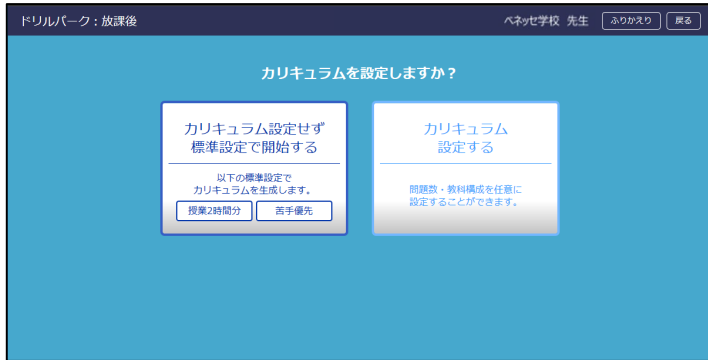
ダウンロードした「個人全教科一覧」を開くと、受検番号を確認できます。ドリルパークのフォーマットに貼り付け、登録します。

ヒント：

子供の出席番号について総合学力調査とミライシードで異なる登録となっている場合は、登録の際に注意をしてください。また、旧年度の受検結果を元に機能を利用する場合、クラス替えを行っていた場合は、旧クラスの受検番号を元に新クラスに登録をしてください。

個人一覧 4年1組							
連番	受検番号	出席番号	性別	氏名	到達スコア・学力層		
					国語	算数	英語
1	1390221942	1	男		73.2 B	96.4 A	
2	1390221829	2	男		33.1 D	78.5 B	
3	1390221973	3	男		47.3 C	57.1 D	
4	1390221720	4	女		44.0 D	48.0 D	
5	1390221775	5	女		45.3 D	84.6 B	
6	1390221669	6	男		68.2 B	66.4 C	
7	1390221904	7	男		57.8 C	68.4 C	
8	1390221768	8	女		54.9 C	83.2 B	
9	1390221935	9	男		36.5 D	63.1 C	
10	1390221911	10	女		34.3 D	72.0 C	





5 カリキュラム設定変更

カリキュラムの設定変更を行うか選択します。

「カリキュラム設定せず標準設定で開始する」を選択した場合には、標準設定でカリキュラムが生成されます。

6 カリキュラムを設定する

カリキュラムの設定変更をする場合は、カリキュラム設定画面が表示されます。

問題数・教科構成をそれぞれ選択し、「確定」を選択します。

カリキュラムの設定

カリキュラムは、問題数・教科構成を設定できます。

【問題数】

ドリルの出題数を「5個」「8個」「15個」の中から設定できます。
また、テストの問題数が選択内容に応じて変動します。
(「5個」…テスト最大5問 「8個」「15個」…テスト最大10問)

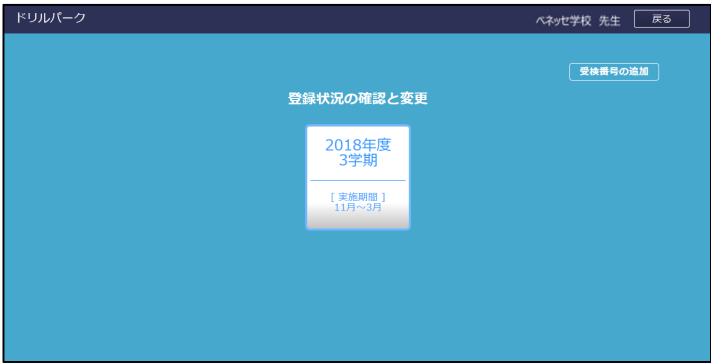
【教科構成】

ドリルで出題する教科構成の設定を以下より設定できます。

- ・ 苦手優先 教科関係なく、苦手な問題を優先してドリルを登録します。
- ・ バランス 受検した全教科を網羅することを優先してドリルを登録します。
- ・ 教科別 問題量が教科ごとに増減します。
主に教科ごとに振り返りを行う中学校を想定した設定です。

ヒント：

カリキュラム設定画面に表示される「カリキュラム生成イメージ」で、どのような内容でカリキュラムが生成されるかを確認することができます。



7 年度・学期を選択する

登録した受検番号に紐づく、年度・学期が選択可能となります。

該当の年度・学期を選択します。

8 カリキュラム生成状況確認画面

カリキュラム生成状況確認画面が表示されます。

「状態」の列が「生成済み」になると、カリキュラムの生成が完了した状態となります。

ヒント：

受検番号の登録を間違えたときは、この画面で「変更」を選択すると、修正および初期化が可能です。
また、カリキュラム設定の変更もこの画面から行うことができます。

学校管理者で登録

受検番号の登録は、学校管理者で行うこともできます。



1 学校管理者メニュー

学校管理者メニューを開き、「総合学力調査設定」を選択します。



2 年度・学期、クラス選択

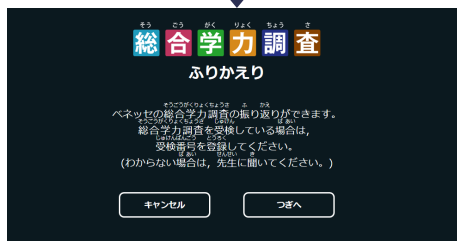
受検番号を登録する年度・学期を選択します。登録するクラスの「編集」を選択すると、該当クラスの登録画面が表示されます。



3 子供が登録する



子供が受験番号を登録する方法をご紹介します。登録は個人単位です。

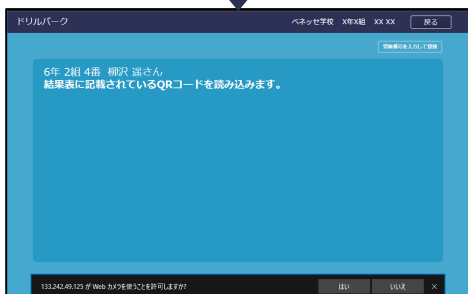
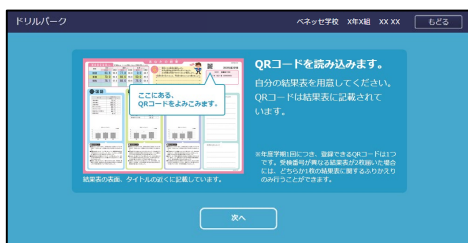


- 1 総合学力調査 受験番号登録画面を表示する
ドリル選択画面の「総合学力調査 ぶりがえり」を選択します。

- 2 機能説明

機能説明画面が、表示されます。
「次へ」を選択します。

Windowsの場合



- 3 受験番号を登録します。

「直接入力」「QRコードで登録」の方法があります。
(Internet Explorer 11 は「QRコードで登録」は非対応です。)

- (1) QRコード説明画面

結果表に印字されているQRコードについての説明が表示されます。「次へ」を選択します。

- (2) QRコード読み込み画面

QRコード読み込み画面が表示されます。

ご利用の環境によっては、カメラの許可が表示されるので、「はい」を選択します。

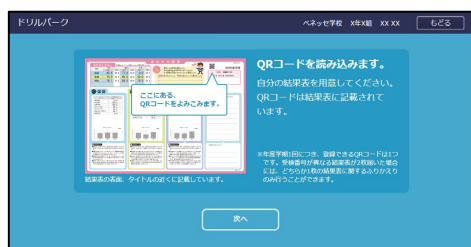
右上の[受験番号を入力して登録]から、直接入力することもできます。

- (3) QRコードを読み込む

総合学力調査の結果表に記載されているQRコードを読み込みます。

なお、インカメラ・アウトカメラの切り替えはできません。

iOSの場合



(1) QRコード説明画面

結果表に印字されているQRコードについての説明が表示されます。「次へ」を選択します。



(2) カメラ起動画面

カメラ起動画面が表示されます。「カメラ起動」を選択します。

右上の[受験番号を入力して登録]から、直接入力することもできます



(3) カメラを起動許可する

ご利用の環境によっては、カメラの許可が表示されるので、「OK」を選択します。

ヒント：

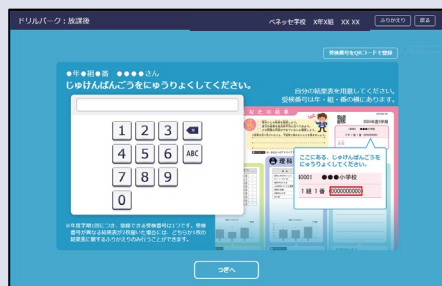
「許可しない」を選択した場合は、設定アプリから各ブラウザの設定メニューを開き、再設定してください。



(4) QRコードを撮影する

総合学力調査の結果表に記載されているQRコードをカメラで撮影後、左下の「写真を使用」を選択します。

受験番号の直接入力

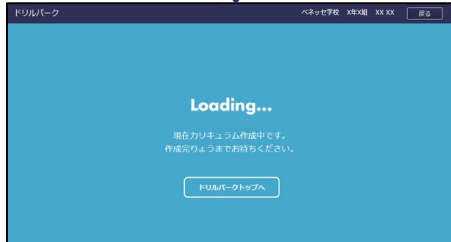
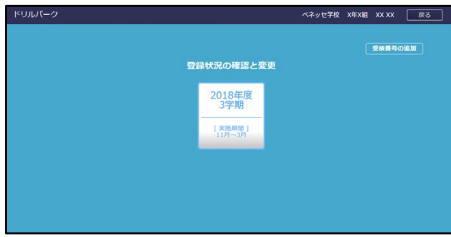


QRコード読み込み画面/カメラ起動画面の右上、[受験番号を入力して登録]から、受験番号を直接入力ができます。表示されるキーボードを使って、受験番号を入力し、「次へ」を選択します。

ヒント：

受験番号にアルファベットが記載されている場合は、「ABC」を選択することで、キーボードを切り替えることができます。





4 年度・学期を選択する

登録した受検番号に紐づく、年度・学期が選択可能となります。該当の年度・学期を選択します。

5 カリキュラム生成中の場合

カリキュラム生成中の場合は、左記画面が表示されます。カリキュラムが生成されるまでお待ちください。

ヒント：

カリキュラムが生成されるとミライシード ポータルTOPのお知らせに表示されます。

カリキュラム設定

子供で受検番号を登録した際には、標準設定でカリキュラムが作成されます。カリキュラム作成後でも、先生が設定を変更することは可能です。



2 カリキュラムに取り組む(子供)

この章では、子供のカリキュラムに関する画面について紹介します。

1 総合学力調査ふりかえり トップ画面

カリキュラム生成が完了すると、表示することができます。

■進捗表示 取り組み状況が表示されます。



進捗状況が表示されます。

「総合学力調査ふりかえり」のトップ画面に進みます。

■トップ画面 カリキュラムに取り組みます。

総合学力調査ふりかえり全体の進捗を表示します。



進捗率に応じてレベルが上がります。

未取り組みのドリルに表示されます。

ドリルを開始します。

算数・数学のドリルに取り組み、誤答があった場合、「学び直しドリル」でより詳細なふりかえりができます。

確認テストで誤答が合った場合に関連するドリルに表示されます。

総合学力調査ふりかえりで獲得したポイント数です。

特定の教科のみ表示します。

教科ごとにすべてのドリルに取り組むと「確認テスト」が表示されます。選択すると「確認テスト」を開始します。

「確認テスト」を全問正解すると…

全問正解時にのみ表示される特別なアニメーションが流れます。



ポイント

3 カリキュラムの進捗を確認する(先生)

この章では、総合学力調査ふりかえりの子供の進捗を確認する方法を紹介します。

1 クラスの進捗を確認する



- 1 総合学力調査 振り返り進捗確認画面を表示する
教師用メニューの「総合学力調査 振り返り進捗画面」を選択します。



- 2 クラスを選ぶ
進捗を確認するクラスを選択します。



- 3 クラス全体の進捗を確認する
クラス全体の進捗を確認することができます。

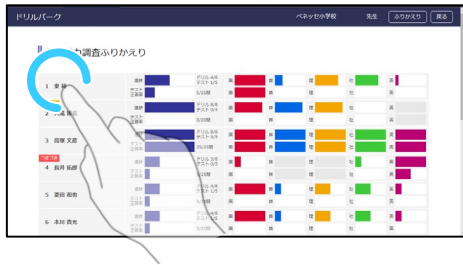
ヒント：

取り組み状況に応じてラベルが表示されます。

[進捗低] …取り組みが進んでいない場合に
表示されます。

[つまずき]…同じ問題を何度も間違っている
場合に表示されます。

2 子供個人の進捗を確認する



1 子供個人の進捗を表示する

クラス進捗確認画面で、子供の氏名を選択します。

2 子供個人の進捗を確認する

子供個人の進捗を確認します。

ヒント:

「○」「×」の箇所をタップすると、解答した内容を確認できます。

ドリルパーク ネイティブアプリ版（子供）の使い方について

ここからはドリルパーク ネイティブアプリ版（子供）の使い方について紹介します。

1 ドリルパーク ネイティブアプリ版（子供）について

ドリルパーク ネイティブアプリ版は通常のブラウザで取り組むドリルではなく、ネイティブアプリ上で利用するドリルとなります。基本的な問題内容は変わりませんが、オフライン環境でも利用することができます。

- * ネイティブアプリ版の利用にあたっては別途インストールが必要となります。
- * ネイティブアプリ版は子供のみ取り組みます。先生向けにはネイティブアプリ版はありません。
- * ネイティブアプリ版で取り組んだ学習履歴はサーバにアップロードされ、ブラウザ版で利用する際に、ネイティブアプリ版の取学習履歴を確認することもできます。
- * ネイティブアプリ版では一部非対応の機能があります。（「総合学力調査ふりかえり」機能、「学び直しドリル」の小学校1～3年生、「途中でやめる」機能、他）

2 推奨環境

- Microsoft Windows 8.1/10
- CPU : Intel® Atom™ Processor Z3795 1.6GHz以上
- メモリ : 4GB 以上
- 画面解像度 : 1024×768以上
- 必要な空き容量 : 10GB

Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

環境によっては、本マニュアルの画面写真と実際の画面の表示が異なる場合があります。

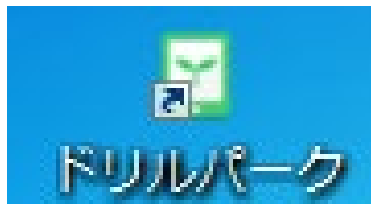
ネイティブアプリ版のインストールにあたっては別途インストール手順書に従い、インストールをしてください。

* 教材データを格納しているため、容量が大きく、インストールには1台30分～1時間程度かかる場合がありますので、ご了承ください。

* 初期起動時には、オンライン環境が必要となります。

1 起動・ログインする

1. 起動・ログインする



1 デスクトップのショートカットを選択

デスクトップのショートカットアイコンからドリルパークを起動します。



2 ログイン情報を入力

学年・組・出席番号・パスワードを入力します。



3 トップ画面が開きます。

2 ホーム画面を知る

1 ホーム画面

基本的には上述のドリルパークの画面と変わりません。異なる点のみ記載します。

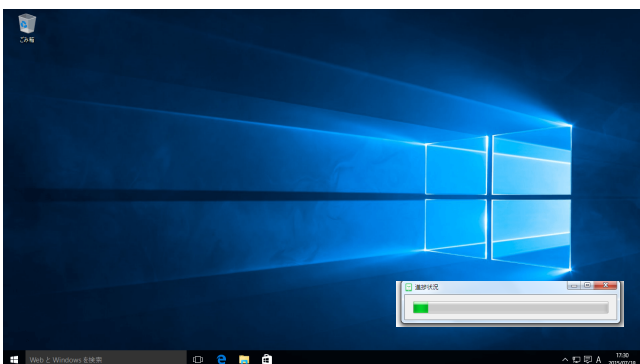


3 サーバと同期する

この章では、同期機能について紹介します。

ドリルパーク ネイティブアプリ版はサーバと同期することができます。
同期する方法は以下の2パターンです。

1 自動同期する



1. 端末起動時に自動同期

端末起動時、またはスリープからの復帰時に自動で同期機能が起動します。
画面右下に同期の進行状況についてのステータスが表示されます。
同期完了後に、ステータス表示は自動で消えます。

2 手動同期する



1. トップ画面より手動同期

トップ画面の「同期する」をタップすることで、同期を開始します。
画面右下に同期の進行状況についてのステータスが表示されます。
同期完了後に、ステータス表示は自動で消えます。
* 同期した内容は一度画面を閉じて、再ログインした際に反映されます。

3 同期内容について

以下の情報をサーバと端末で同期を行います。

■ アップロード内容

- ・ 端末で取り組んだ学習履歴情報

■ ダウンロード内容

- ・ 設定している学校の契約情報
- ・ 子供のログインアカウント情報
- ・ ドリル問題の更新情報
- ・ 先生からの宿題配信情報

著作権について

教材をご利用いただくに当たっての、「著作権」に関する確認事項を記載しています。
必ずお読みください。

2014/7 ベネッセコーポレーション 小中学校事業部

1 本教材の著作権につきまして

- ・ 本教材の著作権は、株式会社ベネッセコーポレーションに帰属します。
- ・ 教材内で使用しています一部の文章・写真等の著作権は、当該著作物の著作権者に帰属します。
- ・ 本教材の複製・修正に際しましては、著作権法で定めます許諾の不要なケースを除き、弊社及び著作権者への許諾申請をお願いします。

【許諾の不要なケース(一部)】

- ・ 私的使用のための複製（第30条）
- ・ 図書館等における複製（第31条）
- ・ 引用（第32条）
- ・ 教育機関における複製等（第35条）
- ・ 試験問題としての複製等（第36条）

2 学校教育で認められている複製につきまして

- ・ 上記の「許諾の不要なケース」の内、「著作権法第35条」で規定されています，教育機関で認められている他者の著作物の使用につき，次ページでポイントを絞ってご説明します。
- ・ 詳細は，次々ページに掲載していますガイドラインをご確認ください。
- ・ なお，「著作権法第35条」は下のとおりです。

著作権法第35条（学校その他の教育機関における複製等）

第35条 学校その他の教育機関（営利を目的として設置されているものを除く。）において教育を担当する者及び授業を受ける者は，その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には，必要と認められる限度において，公表された著作物を複製することができる。ただし，当該著作物の種類及び用途並びにその複製の部数及び態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合は，この限りでない。

2 公表された著作物については，前項の教育機関における授業の過程において，当該授業を直接受ける者に対して当該著作物をその原作品若しくは複製物を提供し，若しくは提示して利用する場合又は当該著作物を[第38条](#)第1項の規定により上演し，演奏し，上映し，若しくは口述して利用する場合には，当該授業が行われる場所以外の場所において当該授業を同時に受ける者に対して公衆送信（自動公衆送信の場合にあつては，送信可能化を含む。）を行うことができる。ただし，当該著作物の種類及び用途並びに当該公衆送信の態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合は，この限りでない。

3 学校での使用方法のポイント

学校等で、「教育を担任する者及び授業を受ける者」が、「その授業の過程」で使用する場合に、「著作権者の利益を不当に害する」ことがない場合、他者の著作物を複製することができます。

1 教育を担任する者及び授業を受ける者

- ・ 実際に授業を行う方と授業を受ける方です。
- ・ 授業を行う方がご自分の授業で使用するために複製することが認められています。別の方(別の先生や教育委員会など)が他者の著作物を複製して作成したプリント等を共有して使うといったケースは、これに該当しません。

2 その授業の過程

- ・ 「授業」には、教科・科目の授業だけでなく、学校行事やクラブ活動などの特別活動も含まれます。学校の教育計画に基づかない自主的な活動は含まれません。
- ・ 「授業の過程」については、次のようなケースは該当しません。

- ・ **校内LANサーバに蓄積すること ***

- ・ 学級通信・学校便り等への掲載
- ・ 教科研究会における使用
- ・ 学校ホームページへの掲載 等、授業に関連しないもの

* 本教材において、他者の著作物が含まれる教材をサーバ上で共有し、他の先生方が使用することは、「35条」の例外規定の条件を超えます。(他者の著作物を使用しない、先生ご自身のオリジナルの教材を共有することは問題ありません)。

3 著作権者の利益を不当に害する

- ・ 著作物の種類と用途…ドリル・白地図・楽譜など、児童数分の購入を想定しているものを複製すること、ライセンス契約範囲を超えたソフトウェアのインストール使用等は認められません。
- ・ 複製の部数・様態…部数は通常の1クラス分(50名程度)が目安となります。大部数の複製は認められません。複製して製本するなど、市販の形態に類似する態様も認められません。

* 第2項では「遠隔授業」での公衆送信についても認めていますが、以下の点に注意する必要があります。

- ・ 「当該授業が行われている場所」＝「主会場」と「当該授業が行われている場所以外の場所」＝「副会場」で授業が行われていることが要件です。例えば、送信者側には講師だけがいて、授業を受ける者は受信者側だけにいるような場合は、無断で公衆送信できるケースには当たりません。
- ・ 「当該授業を同時に受ける者に対して」…「主会場」から「副会場」に行われる送信は「同時中継」であることが必要です。A小学校の授業を録画して、別の時間に他の小学校で受信できるようにするような場合は、無断で公衆送信できるケースには当たりません。
- ・ 「授業を受ける者」…「授業を受ける者」だけが視聴できることが必要です。不特定の者が視聴できるように送信の場合も、無断で公衆送信できるケースには当たりません。

参考資料：「学校教育と著作権」 大和淳著(著作権情報センター)

「学校その他の教育機関における著作物の複製に関する著作権法第35条ガイドライン」

著作権法第35条ガイドライン協議会

「学校における教育活動と著作権」 文化庁長官官房著作権課

4 学校その他の教育機関における著作物の複製に関する

著作権法第35条ガイドライン

著作権法第35条ガイドライン協議会 平成16年3月より

(このガイドラインは、「日本文藝家協会」「日本書籍出版協会」「コンピュータソフトウェア著作権協会」「日本音楽著作権協会」等9つの権利者団体からなる「著作権法第35条ガイドライン協議会」が、平成16年に発表したもので、現在、弊社はじめ出版社等での判断の拠り所となっているものです。)

1 著作権法第35条の適用される機関

事項	条件	内容
学校その他の教育機関	組織的・継続的教育活動を営む教育機関であって、営利を目的としないもの	○ 文部科学省が教育機関として定めるところ、及びこれに準ずるところ 例：幼稚園、小中高校、中等教育学校、大学、短期大学、大学院、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、専修学校、看護学校などの各種学校、大専修、保育所 ○ 社会教育においては、上記教育機関と同等の年間教育計画を有するところ × 営利目的の予備校、私塾、カルチャースクール、営利企業の社員研修など × 学校開放などで教育機関以外の者が単に場所として学校を使用している場合

2 同条第1項に関するガイドライン

事項	条件	内容
教育を担任する者	授業を実際に行う人	○ 上記教育機関の「授業」を担任する教師、教授、講師 等（教員免許等の資格の有無は問わない）
授業を受ける者	授業を実際に受ける人	○ 「授業」を担任する者の指導の下にあることを要する（教育機関間での交流時の他校在校生、社会教育の授業を受ける者を含む） × 研究授業・授業参観における参観者
授業の過程における使用	「授業」は、学習指導要領、大学設置基準等で定義されるもの	授業の過程にあたるかどうかは、左記条件に照らして授業を担任する者が責任を持って判断すること。 ○ クラスでの授業、総合学習、特別教育活動である学校行事（運動会等）、ゼミ、実験・実習・実技（遠隔授業を含む）、出席や単位取得が必要なクラブ活動 ○ 部活動、林間学校、生徒指導、進路指導など学校の教育計画に基づいて行われる課外指導 × 以下の場合には、「授業」にはあたらない。 × 学校の教育計画に基づかない自主的な活動（例：サークル・同好会、研究会） × 以下の場合には、「授業の過程」における使用に当たらない。 × 授業に関連しない参考資料の使用 × 校内LANサーバに蓄積すること × 学級通信・学校便り等への掲載 × 教科研究会における使用 × 学校ホームページへの掲載
必要と認められる限度	授業の対象となる必要部分	範囲は必要最小限の部分とする。
公表された著作物	著作者の許諾を得て公に提供・提示された著作物	× 未公開の論文、作文、手紙、日記、美術、写真、音楽 等の著作物

事項	条件	内容
著作権者の利益を不当に害する	著作物の種類・用途、複製の部数・態様等を考慮	以下の事例は、著作権者等の利益を不当に害すると考えられる。 ①著作物の種類と用途 a 児童・生徒・学生が授業を受けるに際し、購入または借り受けて利用することを想定しているもの（記録媒体は問わない）を購入等に代えてコピーすること 例1-1 その教室で使用されていない検定教科書（教師用指導書を含む） 例1-2 参考書、問題集、ドリル、ワークブック、資料集、テストペーパー、白地図、教材として使われる楽譜 例1-3 高等教育（大学等）の教科書として利用される図書（参考書、演習書、問題集等を含む） 例1-4 読者対象に、高等教育における学生を含む専門書籍・雑誌を、当該教科の高等教育で使用する 例1-5 ライセンス契約範囲を越えたソフトウェアのインストール使用（雑誌・書籍等の付録CD-ROMも含む） 例1-6 教材用の録音物・録音録画物（音楽用CD、CD-ROM等デジタル媒体の音声を伴う参考書、補助教材、教育機関での上映を目的として頒布されるビデオ） 例1-7 レンタル用として頒布されたビデオ、DVD b 本来の授業目的を超えた利用が行われる場合 例2-1 必要な期間を超えて教室内あるいは学校内の壁面等に掲示されることを目的とするもの 例2-2 放送番組等をライブラリー保存を目的として録音・録画すること ②複製の部数と態様 原則として、部数は通常の1クラスの人数と担任する者の和を限度とする（小中高校及びこれに準ずる学校教育機関以外の場合、1クラスの人数は概ね50名程度を目安とする）。 a 大部数の複製等、多数の学習者による使用 例3-1 大学等の大教室での利用 例3-2 複数の学級で利用することで結果的に大部数の複製となる場合（社会教育等で、同一の著作物を繰り返して利用する場合を含む） 例3-3 通信教育の教材（第2項に該当するものを除く） 例3-4 放送による授業の教材 b 複製の態様が市販の商品と競合するような方法で行われる場合 例4-1 複製して製本するなど市販の形態に類似すること 例4-2 鑑賞用に美術、写真を複製すること c 継続的に複製が行われる場合 例5-1 授業のたびに、同一の新聞・雑誌などのコラム、連載記事を継続的に複製すること 例5-2 結果として大部分を複製する場合
事著作者人格権を侵害しないこと		× 著作者の意図に反する著作物の内容の改変・編集 × 著作物に記載された著作権表示の消去・改ざん
出所明示	慣行ある場合	著作物を複製する場合には、複製物にその著作物の出所を明示する。 授業を受ける者による複製は、授業を担当する者が出所明示の指導を行う。 出所明示の内容としては、以下の項目を明示することが望ましい。 ・書籍の場合：書名、作品名、著作者名、出版社名、発行年 ・雑誌・新聞の場合：掲載紙誌名、記事・論文名、著作者名、発行年月日 ・放送番組の場合：番組名、放送局名 ・音楽（CD）の場合：曲名、作詞・作曲者名、実演家名、レコード会社名 ・映画の場合：題名、製作者名、監督名、実演家名

3 第2項に関するガイドライン

事項	条件	内容
「教育機関」「授業の過程」「公表された著作物」	第1項に準じる	
当該授業を直接受ける者	授業を担当する者と物理的に同じ場所で授業を受ける者	× 教師が授業を行う場所に学生がいない場合
原作品若しくは複製物を提供し、若しくは提示して利用する場合	第1項で認められる利用であること	× 主会場で提供・利用されていないものの送信
第38条第1項の規定により上演し、演奏し、上映し、若しくは口述して利用する場合	非営利・無料かつ実演家等に対し無報酬であること	「副会場」においても左記条件を満たしていること
当該授業が行われる場所以外の場合	上記の著作物の利用が行われている「主会場」に対応する「副会場」であること	× 主会場がなく、遠隔地への送信のみによって行われる授業
授業を同時に受ける者		○ 授業のリアルタイムの中継 × 登録された学生でない者 × 授業をあらかじめ録画しておき後日配信すること × オンデマンドで配信する授業における著作物・複製物の使用 × 授業終了後も利用できるように、著作物等をホームページ等に掲載すること
著作権者の利益を不当に害する	著作物の種類・用途、公衆送信の態様等を考慮	以下の事例は、著作権者等の利益を不当に害すると考えられる。 ①著作物の種類と用途 第1項に準じる ②公衆送信の態様 例6-1 授業を受ける者以外の者が閲覧できるように公衆送信すること 例) 複数のPCに送信できるようなサーバ等のコンピュータへのソフトウェアの蓄積 例6-2 送信された複製著作物を、受信側で二次的に複製すること 例6-3 大教室での授業に相当するような人数への送信を行うこと。 例) 学校のコンピュータと児童生徒の自宅のコンピュータがネットで結ばれている状態で、学校で使っているソフトウェアを自宅に送信して授業以外の目的で使うこと
*備考	右のような著作物の使用は、本条で認められる著作物の使用には該当しない。	・学校のホームページにキャラクター、イラスト、新聞・雑誌記事などを掲載すること ・一つのソフトウェアを学校内のLANで共有すること ・校歌を学校のホームページで流すこと ・学校のホームページからパッケージソフトをダウンロードできるようにすること

株式会社 **ベネッセコーポレーション**

初等中等教育事業本部

- お問い合わせ窓口／0120-8888-44
 - E-mail／school@mail.benesse.co.jp
 - <http://www.teacher.ne.jp/miraiseed/>
-